三年八月十九日大藏省告示第百四十六號を以て發行のことを、同月二十六日遞信省告示第千百九十六號、九月一日朝鮮總督府告示第百八十號及八月三十日臺灣總督府告示第百十四號を以て郵便局賣出のことを公布し、九月一日之を發行せり。發行要領左の如し。

大藏省告示第百四十六號（大正十三年八月十九日）

一五分利國庫債券（第十六回）額面千五百萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種

發行價格　額面百圓ニ付九十一圓三十錢

償還期限　大正二十年六月一日迄

利率　年五分

利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

初期利子（大正十三年十二月一日渡）　額面百圓ニ付一圓十六錢

右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ大正十三年九月一日之ヲ發行ス

本債券の賣出は大正十三年九月一日より同月十五日迄に行はれ、總額千百八十二萬五千七十五圓の賣上ありたり。

本債券の發行價格（賣出價格）は額面百圓に付九十一圓三十錢なりしを以て、實收總額は千三百六十九萬五千圓にして、右は全部鐵道事業費に充當せられたり。

第六十二款　五分利國庫債券（第十七回）

五分利國庫債券（第十七回）六千八百萬圓は、大正九年四月、同年六月並に同年九月に於て、夫々鐵道事業費支辨の爲め發行したる五分利國庫債券（と號）千萬圓、（ち號）千萬圓並に（り號）四千二百萬圓、合計六千二百萬圓の元金償還の爲め發行せられたるものとす。發行規程左の如し。

五分利國庫債券（第十七回）發行規程（大正十三年十月二十四日大藏省令第二十四號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第十七回）六千八百萬圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓七十五錢

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓二十五錢

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十年九月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十四年三月一日以前ニ關スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓三十九錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十三年十一月六日ヨリ同八日迄トス但シ時宜ニ依リ同八日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ大正十三年十一月六日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行又ハ郵便局所ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十三年十一月十五日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行又ハ郵便局所ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十三年十一月十五日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十三年十一月二十二日　募入額百圓ニ付八十六圓七十五錢

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　五分利國庫債券（と號）（ち號）（り號）ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢、臨時國庫證券（り號）（ぬ號）ハ額面金額百圓ニ付百二圓五十錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ大正十三年十二月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ各其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及各其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十三年十一月二十二日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十三年十一月二十二日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十三年十二月一日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十三年十一月二十二日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は十一月六日より八日までに行はれたるが、應募總額は六千七百四十一口、八千九百九十二萬七千百七十五圓にして、二千百九十二萬七千百七十五圓の超過を見たり。此の內現金應募は三千八百九十一口、五千三百五十三萬三千三百五十圓、代用應募は二千八百五十口、三千六百三十九萬三千八百二十五圓なりき。應募者の種類別を表示すれば左の如し。

種類別	千圓未滿		千圓以上		一萬圓以上		五萬圓以上		十萬圓以上		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
官廳	二	八五〇円	—	—円	—	—円	—	—円	—	—円	二	八五〇円
公共團體	五	三、二七五	三	六八、二〇〇	二	二七、八〇〇	—	—	二	一、三一九、三二五	三〇	一、四一八、八〇〇
社寺	四	一、七五〇	四	五、六七五	一	一九、〇〇〇	—	—	—	—	九	二六、四二五
銀行	一〇	四、四五〇	二三	二六六、一七五	三三	七三四、六〇〇	一八	一、一四五、六七五	六六	三六、九〇七、四二五	三四七	四一、〇三六、三二五
會社	二	一、〇五〇	七	三〇、三七五	三	四一、六二五	—	—	三	二、六一四、〇二五	一五	二、六七、二七五
財團法人及社團法人	三	一、三七五	六	二一、四〇〇	二	二六、二二五	—	—	—	—	一二	四九、二〇〇
法人に非ざる組合其他の團體	五	一、五七五	二	五、〇〇〇	—	—	—	—	一	二〇〇、〇〇〇	八	二〇六、五七五
個人	二、〇八四	七三四、一七五	一、三七五	三、四六四、八〇〇	一三三	二、三四一、四七五	二六	一、三七六、一五〇	三六	三三、六四四、八〇〇	三、八五一	三〇、六六一、四〇〇
公債賣買業者	—	—	三	一二、〇〇〇	三	六八、一〇〇	一	七三、九二五	二五	一二、九七七、四〇〇	三三	一三、一三一、四二五
外國人	—	—	一	二、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	一	二、〇〇〇
合計	二、一二五	七四八、七〇〇	一、八二八	三、八六五、八二五	一五五	三、二四八、八二五	四五	二、七九三、七五〇	一三五	七八、六六三、一七五	四、三〇六	八九、三三〇、二七五

（備考）外に類別不明のもの（郵便局扱）一、六五〇口・六〇六、九〇〇圓あり。

尙ほ前記募入額六千八百萬圓中、後に至り申込の失效したるもの、額面三千百圓ありたるを以て、結局發行確定額は六千七百九十九萬六千九百圓となりたり。

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募九十一圓七十五錢、代用應募九十一圓二十五錢にして代用證券は前記五分利國庫債券（と號）（ち號）及（り號）（額面百圓に付代用價格百一圓二十五錢）の外、臨時國庫證券（り號）及（ぬ號）（同上百二圓五十錢）とす。現金の拂込は大正十三年十一月十五日に五圓、十一月二十二日に八十六圓七十五錢、代用證券の拂込は十一月二十二日迄に之を爲すべきものなり。毎期拂込額及拂込延滯利子左表の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期	一、五八一、三〇八・七五〇円	円 —	代用拂込合計	三三、一八九、〇一一・九六〇円	円 —
第二期	二七、四三五、〇一〇・五一〇	九六・七八〇		六二、二〇五、三三一・二二〇	九六・七八〇

右拂込金及拂込延滯利子は、大正十三年十一月二十九日より翌年三月三十日迄に全部國庫に收入せられ、此の實收金は起債の目的に從ひ、帝國鐵道特別會計所屬の五分利國庫債券（と號）（ち號）及（り號）合計六千二百萬圓の償還に充當せられたり。

第六十三款　五分利國庫債券（第十八回）

五分利國庫債券（第十八回）千五百萬圓は、鐵道事業費充當の爲め起債せられたるものにして、大正十三年十一月十日大藏省告示第百七十八號を以て發行のことを、同日遞信省告示第千五百四十三號、同月二十一日朝鮮總督府告示第二百三十四號、及同月二十二日臺灣總督府告示第百三十三號を以て郵便局賣出のことを公示し、十一月二十五日之を發行したり。發行要領左の如し。

大藏省告示第百七十八號（大正十三年十一月十日）

一五分利國庫債券（第十八回）額面千五百萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種

發行價格　額面百圓ニ付九十一圓三十錢

償還期限　大正二十一年六月一日迄

利率　年五分

利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

初期利子（大正十四年三月一日渡）　額面百圓ニ付一圓二十五錢

右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ大正十三年十一月二十五日之ヲ發行ス

本債券の郵便局賣出は、大正十三年十一月二十五日より十二月十日迄に取扱はれ、總額六百九十六萬四千百五十圓の賣渡ありたり。

本債券の發行價格（賣出價格）は額面百圓に付九十一圓三十錢なりしを以て、實收總額は千三百六十九萬五千圓となり、此の實收金は全部鐵道事業に充當せられたり。

第六十四款　五分利國庫債券（第十九回）

五分利國庫債券（第十九回）千萬圓も亦、鐵道事業費充當の爲め發行せられたるものにして、大正十四年一月七日大藏省告示第二號を以て發行のことを、同月九日遞信省告示第二十三號、同月二十一日朝鮮總督府告示第五號、及同月二十五日臺灣總督府告示第十二號を以て郵便局賣出のことを公示し、一

月二十六日之を發行せり。發行の要項左の如し。

大藏省告示第二號（大正十四年一月七日）

一五分利國庫債券（第十九回）額面千萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種

發行價格　額面百圓ニ付九十一圓五十錢

償還期限　大正二十一年六月一日迄

利率　年五分

利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

初期利子（大正十四年六月一日渡）　額面百圓ニ付一圓六十三錢

右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ大正十四年一月二十六日之ヲ發行ス

本債券の賣出は大正十四年一月二十六日より翌月十日迄に行はれ、總額七百二十八萬五千九百圓の賣渡ありたり。

本債券の發行價格（賣出價格）は額面百圓に付九十一圓五十錢なりしを以て、實收總額は九百十五萬圓となり、此の實收金は起債の目的に從ひ、全部鐵道事業費支辨に充當せられたり。

第六十五款　五分利國庫債券（第二十回）

五分利國庫債券（第二十回）九千萬圓は、大正九年十二月發行五分利國庫債券（を號）五千萬圓、大正十二年九月發行同上（第八回）千五百萬圓、及び大正十三年三月發行同上（第十一回）千七百七十二萬七千三百五十圓、合計八千二百七十二萬七千三百五十圓の借換整理の爲め、國債整理基金特別會計法第五條に依りて發行せられたるものとす。其の發行規程は左の如し。

五分利國庫債券（第二十回）發行規程（大正十四年一月二十三日大藏省令第二號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第二十回）九千萬圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓五十錢

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十一年九月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十四年六月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓三十四錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十四年二月四日ヨリ同六日迄トス但シ時宜ニ依リ同六日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ大正十四年二月四日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行又ハ郵便局所ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他

之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十四年二月十四日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行又ハ郵便局所ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十四年二月十四日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十四年二月二十四日　募入額百圓ニ付八十六圓五十錢

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　五分利國庫債券(を號)(第八回)(第十一回)ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ大正十四年三月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ各其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及各其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十四年二月二十四日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十四年二月二十四日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十四年三月一日以

後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日步四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十四年二月二十四日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は大正十四年二月四日より二月六日迄に行はれたるが、應募總額は三千四百八十三口、一億三千百三十三萬三千五百七十五圓に達し、約四割五分の超過を見たり。此の內現金應募額は二千四百二十三口、四千七百八十五萬三千九百圓にして、代用應募額は千六十口、八千三百四十七萬九千六百七十五圓なりき。應募者の種類別表左の如し。

種類別	千圓未滿		千圓以上		一萬圓以上		五萬圓以上		十萬圓以上		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
公共團體	六	七、一五〇円	一五	四四、九七五円	三	七三、五六〇円	—	円	二	二三一、〇五〇円	二六	三四六、七二五円
學校	—	—	一	三、二五〇	—	—	—	—	—	—	一	三、二五〇
社寺	二	一五〇	一	一、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	一、一五〇
銀行	六	二、七七五	一六	六三、八三五	五五	一、一四六、五五〇	三七	二、四五八、七二五	七三	五六、七九、〇七五	一八七	六〇、三九〇、九五〇
會社	—	—	六	一六、一〇〇	一〇	一六六、一〇〇	一	九〇、〇〇〇	二	二、六八八、五〇〇	一九	二、九五〇、七〇〇
財團法人及社團法人	—	—	二	一一、八〇〇	一	三一、〇〇〇	—	—	—	—	三	三三、八〇〇
法人に非ざる組合其他の團體	一	一〇〇	四	六、四〇〇	一	一〇、〇〇〇	—	—	一	一七〇、〇〇〇	七	一八六、五〇〇
個人	七五	二五〇、七二五	八〇四	二、〇二九、九五〇	一九	三、一〇二、六五〇	四八	二、八〇四、一〇〇	六三	三五、一五九、一五〇	一、八八七	四三、四六六、五七五
公債賣買業者	—	—	三	一二、三〇〇	—	—	—	—	一五	三三、八五三、九三五	二	二三、一一七、四二五
外國人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五五三、三〇〇	一	五五三、三〇〇
合計	八一〇	二六〇、九〇〇	八五三	二、一八九、六〇〇	二四八	四、六二〇、八五〇	八九	五、六〇五、〇二五	一五六	二一八、三五四、〇〇〇	二、一五五	一三二、〇五〇、三七五

（備考）外に類別不明のもの（郵便局扱）五四三口・二八三、二〇〇圓あり。

尙ほ本債券募入額九千萬圓中、後に至り申込の失效したるもの額面百圓ありたるを以て、結局發行確定高は八千九百九十九萬九千九百圓となりたり。

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募九十一圓五十錢、代用應募九十一圓にして、代用證券（を號・第八回・第十一回）の代用價格は何れも百一圓二十五錢の割合なり。而して現金の拂込は十四年二月十四日に五圓、同月二十四日に八十六圓五十錢の二回に爲すべく、代用證券は二月二十四日迄に拂込

むべきものとす。毎期の拂込金及拂込延滯利子を表示すれば左の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期 第二期	四四六、〇一三・七五〇円 七、七一六、〇三七・六一〇	二一・六二〇円	代用拂込 計	七三、七八二、四五八・七五〇円 八一、九四四、五一〇・一一〇	二一・六二〇円

（備考）右の拂込金は大正十三年度分に限る。

此の拂込金八千百九十四萬四千五百十圓十一錢、及拂込延滯利子二十一圓六十二錢は、大正十四年二月二十三日より四月二十四日迄に全部國庫に納入せられ、右實收金は起債の目的に從ひ、全部五分利國庫債券（を號・第八回・第十一回）の償還に充當せられたり。尚ほ公債金は舊債券の所屬に比例して、左の諸會計の負擔に分屬したり。

一般會計	七〇、五二九、九〇三・七二八圓
朝鮮總督府特別會計	一四、〇〇四、三六七・四八七
樺太廳特別會計	五、四六五、六二八・七八五
合計	八九、九九九、九〇〇・〇〇〇

第六十六款　五分利國庫債券（第二十一回）

五分利國庫債券（第二十一回）千萬圓は、朝鮮に於ける事業費支辨の爲め、大正十四年二月十三日大藏省預金部の引受を以て發行せられたるものなり。發行要領左の如し。

大藏省告示第二十九號（大正十四年二月十三日）

一五分利國庫債券（第二十一回）額面千萬圓

發行價格	額面百圓ニ付九十圓
償還期限	大正二十三年九月一日迄
利率	年五分
初期利子（大正十四年三月一日渡）	額面百圓ニ付十五錢

右朝鮮事業公債法第一項ニ依リ本日之ヲ發行ス

本債券の發行價格は額面百圓に付九十圓なりしを以て、實收總額は九百萬圓となり、此の實收金は起債の目的に從ひ、全部朝鮮事業費に充當せられたり。

第六十七款　五分利國庫債券（第二十二回）

五分利國庫債券（第二十二回）九千萬圓は、大正九年十一月鐵道事業費充當の爲め發行したる五分利國庫債券（る號）二千萬圓、同年十二月鐵道事業費充當並に舊北海道炭礦鐵道株式會社英貨社債借換の爲め發行したる同債券（わ號）三千三百十九萬六百五十圓、同十年一月鐵道事業費充當の爲め發行したる同債券（か號）千萬圓、同十年三月同上の爲め發行したる同債券（よ號）千萬圓、及同十三年六月發行臨時國庫證券（ら號）四千萬圓、計一億千三百十九萬六百五十圓の償還に資する爲め發行せられたるものにして、大正十四年四月二十三日大藏省令第十三號を以て左の如く發行規程を定め、之を一般公募に附したり。

五分利國庫債券（第二十二回）發行規程（大正十四年四月二十三日大藏省令第十三號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第二十二回）九千萬圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓二十五錢

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十圓七十五錢

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十三年六月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十四年九月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓四十錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十四年五月四日ヨリ同六日迄トス但シ時宜ニ依リ同六日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ大正十四年五月四日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行又ハ郵便局所ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十四年五月十三日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行又ハ郵便局所ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十四年五月十三日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十四年五月二十二日　募入額百圓ニ付八十六圓二十五錢

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　五分利國庫債券（る號）（わ號）（か號）（よ號）及臨時國庫證券（ら號）ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ大正十四年六月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ各其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及各其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十四年五月二十二日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十四年五月二十二日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十四年六月一日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日步四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十四年五月二十二日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は大正十四年五月四日より五月六日迄に行はれたるが、應募總額は五千八口、一億四千八百十五萬七千八百七十五圓に達し、此の內現金應募は二千九百九十口、六千七百二十七萬五百五十圓、代用應募は二千十八口、八千八十八萬七千三百二十五圓なりき。而して此の內募入額は四千九百二十一口、九千萬圓なりしを以て、五千八百十五萬七千八百七十五圓の募入外れを生じたり。應募者の種類別表左の如し。

種類別	千圓未滿		千圓以上		一萬圓以上		五萬圓以上		十萬圓以上		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
公共團體	五	三、100円	一八	四五、七七五円	二	五〇、四〇〇円	一	六六、五〇〇円	一	一、二四六、二五〇円	二七	一、四二二、〇二五円

社寺	九	三、一七五	八	一九、四〇〇	一	六四七、〇二五	一	一、四七五、二五〇	六六	五五、一二八、九七五	一七	三三、五七五
銀行	五	二、七五〇	二	六二、三二五	三	四二、〇〇〇	二	九〇、〇〇〇	一五	九、二四五、九〇〇	二九	五五、三〇六、三二五
會社	四	一、四〇〇	五	一三、三三五	四	三〇、〇〇〇	一		一		五	九、三九、一、六二五
財團法人及法人に非ざる組合其他の團體	—	—	四	九、九〇〇	—	—	—	—	—	—	六	三九、九〇〇
個人	二	九七五	—	—	一	三、四四一、二〇〇	三六	二、〇八六、七〇〇	四	八六九、三七五	二、九二三	四三、二四一、三〇〇
公債賣買業者	—	五四、六七五	一、一四五	二、八四七、〇五〇	一四、七五	六五、〇〇〇	一	六五、三一〇	七一	三四、六〇二、二〇〇	七六	三四、七四七、三〇〇
外國人	—	—	二	三、五〇〇	—	—	—	—	三	二、六二〇、七〇〇	五	二、六二四、二〇〇
合計	一、四九九	五四二、〇七五	一、二〇五	三、〇一六、〇五〇	二四四	四一、二七四、六二五	六三	三、七六三、七七五	二二五	一三六、〇五九、〇七五	三、三二五	一四七、六五五、六〇〇

（備考）外に類別不明のもの（郵便局扱）一、〇一七口・五〇二、二七五圓あり。

尚ほ前記募入額九千萬圓中、後に至り額面百圓の申込失效ありたるを以て、發行確定高は八千九百九十九萬九千九百圓となれり。

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募九十一圓二十五錢、代用應募九十圓七十五錢にして、代用證券（五分利國庫債券る號・わ號・か號・よ號、及臨時國庫證券ら號）の代用價格は、何れも額面百圓に付百一圓二十五錢とす。應募金の拂込は現金にありては大正十四年五月十三日に五圓、同月二十二日に八十六圓二十五錢の二回に、代用拂込にありては五月二十二日迄に代用證券を拂込むべきものとせり。每期の拂込額及拂込延滯利子左の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期	八二五、四〇五・〇〇〇円	— 円	代用拂込	六六、六九三、八九六・一一〇円	— 円
第二期	一四、二三八、一四八・五六〇	九二・四三〇	計	八一、七五七、四四九・六七〇	九二・四三〇

右拂込金及び拂込延滯利子は、大正十四年五月二十二日より逐次國庫に納入せられ、同年十一月九日を以て全部完了したり。

右の實收金八千百七十五萬七千五百四十二圓十錢は、起債の目的に從ひ、全部前記國庫債券及臨時國庫證券の償還資金に充當せられ、又其の公債金は一般會計及帝國鐵道特別會計の兩會計に分屬せしめられ、一般會計の負擔は九百四十三萬二千六百圓、帝國鐵道特別會計の負擔は八千五十六萬七千三百圓となれり。

第六十八款　五分利國庫債券（第二十三回）

五分利國庫債券（第二十三回）千五百萬圓は、朝鮮及鐵道兩事業費充當の爲めに發行せられたるものにして、大正十四年五月七日大藏省告示第七十三號を以て發行のことを、同月九日遞信省告示第七百三十五號、同月十九日朝鮮總督府告示第百二十三號、及び同月二十七日臺灣總督府告示第七十七號を以て郵便局賣出のことを公示し、五月二十五日之を發行したり。發行の要項左の如し。

大藏省告示第七十三號（大正十四年五月七日）

一五分利國庫債券（第二十三回）額面千五百萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種

發行價格　額面百圓ニ付九十圓

償還期限　大正二十六年三月一日迄

利率　年五分

利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

初期利子（大正十四年九月一日渡）　額面百圓ニ付一圓二十五錢

右朝鮮事業公債法第一項及帝國鐵道會計法第二條ニ依リ大正十四年五月二十五日之ヲ發行ス

本債券の賣出は大正十四年五月二十五日より翌月十日までに爲されたるが、總額千四百九十二萬六千八百七十五圓の賣渡ありて、略ぼ滿額に達したり。

本債券の發行價格（賣出價格）は額面百圓に付九十圓なりしを以て、實收總額は千三百五十萬圓にして、此の實收金は起債の目的に從ひ、鐵道事業費及朝鮮事業費支辨に供せられたり。而して公債金の所屬は帝國鐵道特別會計負擔五百萬圓、朝鮮總督府特別會計負擔千萬圓なりとす。

第六十九款　五分利國庫債券（第二十四回）

五分利國庫債券（る號、わ號、か號、よ號及臨時國庫證券（ら號）合計一億千三百十九萬六百五十圓は、曩に五分利國庫債券（第二十二回）九千萬圓を以て其の大部分を借換へられたるが、尙ほ三千百四十三萬餘圓の未償還額を存せしを以て、政府は之が償還の爲に、別に五分利國庫債券（第二十四回）三千四百四十萬圓を起債することと爲し、大正十四年六月一日日本銀行の引受を以て之を發行したり。發行の要領次の如し。

大藏省告示第八十五號（大正十四年五月二十七日）

一五分利國庫債券（第二十四回）額面三千四百四十萬圓

發行價格　額面百圓ニ付九十一圓五十錢

償還期限　大正二十五年三月一日迄

利率　年五分

初期利子（大正十四年九月一日渡）　額面百圓ニ付一圓二十六錢

右國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ大正十四年六月一日之ヲ發行ス

本債券の發行價格は額面百圓に付九十一圓五十錢なりしを以て、實收總額は三千百四十七萬六千圓となり、此の實收金は第二十二回發行分の實收金八千百七十五萬七千五百四十二圓十錢と合せて同年六月一日償還期限たる前記諸債券の償還に充當せられ、公債金の負擔は一般會計の所屬に歸したり。

第七十款　五分利國庫債券（第二十五回）

五分利國庫債券（第二十五回）六千萬圓は、大正十一年七月樺太事業費充當の爲め發行せられたる五分利國庫債券（さ號）五百萬圓、及同年九月鐵道・朝鮮・臺灣・樺太・關東州の各事業費充當の爲め發行せられたる同上（め號）五千萬圓、計五千五百萬圓（何れも大正十四年九月一日償還期限）の借換の爲め起債せられたるものとす。其の發行規程は大正十四年七月二十三日大藏省令第十八號を以て左の如く定められ、八月七日より同十日迄に一般公募に附せられたり。

五分利國庫債券（第二十五回）發行規程（大正十四年七月二十三日大藏省令第十八號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第二十五回）六千萬圓ヲ

發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十二圓二十五錢

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓七十五錢

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十五年三月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十四年十二月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓三十七錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十四年八月七日ヨリ同十日迄トス但シ時宜ニ依リ同十日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ大正十四年八月七日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十四年八月十五日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十四年八月十五日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十四年八月二十四日　募入額百圓ニ付八十七圓二十五錢

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　五分利國庫債券（さ號）（め號）ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ大正十四年九月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ各其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及各其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス

場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十四年八月二十四日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十四年八月二十四日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十四年九月一日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十四年八月二十四日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は大正十四年八月七日より十日迄に爲されたるが、其の應募總額二千百四十三口、八千八百五十三萬千九百七十五圓にして、此の內現金應募は千三百二十五口、三千四百六十六萬三千九百二十五圓、代用應募は八百十八口、五千三百八十六萬八千五十圓なりき。而して募入額は二千六十五口、六千萬圓なりしを以て、七十八口、二千八百五十三萬千九百七十五圓の募入外れを生じたり。應募者の種額別表左の如し。

種類別	千圓未滿		千圓以上		一萬圓以上		五萬圓以上		十萬圓以上		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
官廳	一	一円	一	一円	一	一円	一	八六、二七五円	三	四六六、五七五円	四	五四四、八五〇円

公共團體	三	一、六〇〇円	二四	六六、〇〇〇円	一	二二、〇〇〇円	一	五〇、〇〇〇円	二	三三五、〇〇〇円	三一	一〇	四六九、六〇〇円	一六、九〇〇	一六、九〇〇
社寺	四	一、一〇〇	六	一五、八〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
銀行	—	—	二〇	七、六五〇	三六	八五、六七五	二七	一、八四八、九〇〇	八七	五二、〇九〇、二五〇	一七〇	一七〇	五四、八七六、四七五	五四、八七六、四七五	五四、八七六、四七五
會社	三	一、二〇〇	四四	一七、一〇〇	四	九一、九〇〇	四	二一〇、〇〇〇	八	二、八〇三、四五〇	二三	七	三、一二三、六五〇	三、一二三、六五〇	三、一二三、六五〇
法人に非ざる組合其他の團體	一	六七三	六	一〇、四五〇	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇、八五〇	一〇、八五〇	一〇、八五〇
個人	一	二三四、八〇〇	四〇〇	一、二五〇、六三五	一七四	三、一三三、九〇〇	二二	一、三四〇、八二五	四〇	一〇、二五一、三〇〇	一、五六三	一、五六三	一六、四四九、四五〇	一六、四四九、四五〇	一六、四四九、四五〇
公債賣買業者	六	六六、〇〇〇	四	二五、八〇〇	七	一五三、四七五	七	三八二、八〇〇	三一	一二、四三七、四七五	五〇	五〇	一三、〇〇〇、二〇〇	一三、〇〇〇、二〇〇	一三、〇〇〇、二〇〇
合計	六八五	三三九、七五〇	七一九	一、七三、四二五	二三	四、三六八、九五〇	六一	三、九三五、八〇〇	一七一	六、四一四、〇五〇	一、八五六	一、八五六	八八、五三一、九七五	八八、五三一、九七五	八八、五三一、九七五

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募九十二圓二十五錢、代用應募九十一圓七十五錢にして代用證券の代用價格は何れも額面百圓に付百一圓二十五錢とす。應募金の拂込は、現金にありては大正十四年八月十五日に五圓、同月二十四日に八十七圓二十五錢の二回に、證券にありては八月二十四日迄に拂込むべきものとす。毎期の拂込額及拂込延滯利子左の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期	四五三、七五一・二五〇円	—	代用拂込	四六、七二三、六六三・七四〇円	—
第二期	七、九一七、九五八・九〇〇	一五・一三〇	計	五五、〇九五、三七三・八九〇	一五・一三〇

右拂込金五千五百九萬五千三百七十三圓八十九錢、及拂込延滯利子十五圓十三錢は、大正十四年八月二十一日より同年九月二十五日迄に全部之を國庫に納入し、此の實收金は起債の目的に從ひ、前記國庫債券五千五百萬圓の償還に充當せられたり。而して此の公債金は舊債券の所屬せし所に從ひて、左の諸會計に於て分擔せられたり。

一般會計	一〇四、七五一・八〇一圓
帝國鐵道特別會計	一九、七三二、五九九・六四一
朝鮮總督府特別會計	二二、七三九、七二七・七三一
臺灣總督府特別會計	九、五三〇、七六三・〇六五
樺太廳特別會計	六、九五二、一八九・八三六
關東廳特別會計	九三九、九六七・九二六
合計	六〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇

第七十一款　五分利國庫債券（第二十六回）

五分利國庫債券（第二十六回）千五百萬圓は、鐵道事業費支辨の爲め起債せられたるものにして、大正十四年八月十一日大藏省告示第百十六號を以て發行のことを、同月十四日遞信省告示第千二百十四號、同月二十四日朝鮮總督府告示第二百十號、及び同月二十六日臺灣總督府告示第百十五號を以て郵便局賣出のことを公布し、八月二十五日之を發行したり。發行の要領左の如し。

大藏省告示第百十六號（大正十四年八月十一日）

一五分利國庫債券（第二十六回）額面千五百萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種

發行價格　額面百圓ニ付九十一圓九十錢

債　還　期　限　大正二十六年三月一日迄

利　　率　年五分

利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

初期利子（大正十四年十二月一日渡）　額面百圓ニ付一圓二十五錢

右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ大正十四年八月二十五日之ヲ發行ス

本債券の賣出は大正十四年八月二十五日より九月十日迄に行はれ、總額四百十一萬八千五百七十五圓の賣渡ありたり。

本債券の發行價格（賣出價格）は額面百圓に付九十一圓九十錢なりしを以て、實收總額は千三百七十八萬五千圓にして、此の實收金は起債の目的に從ひて全部鐵道事業費に充當せられたり。

第七十二款　五分利國庫債券（第二十七回）

五分利國庫債券（第二十七回）九千萬圓は、大正十二年十一月、同債券（ほ號）（大正八年七月臨時軍事費充當の爲め發行）借換の爲め發行せられたる、五分利國庫債券（第九回）八千三百萬圓の借換を目的として起債せられしものにして、其の發行規程は大正十四年十月二十二日大藏省令第二十一號を以て左の如く定められ、十一月四日より同六日迄一般公募に附せられたり。

五分利國庫債券（第二十七回）發行規程（大正十四年十月二十二日大藏省令第二十一號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第二十七回）九千萬圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十二圓

二　第十一條ノ規程ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓五十錢

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十五年九月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十五年三月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓三十六錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十四年十一月四日ヨリ同六日迄トス但シ時宜ニ依リ同六日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ大正十四年十一月四日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十四年十一月十二日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十四年十一月十二日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十四年十一月二十四日　募入額百圓ニ付八十七圓

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　五分利國庫債券（第九回）ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ大正十四年十二月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十四年十一月二十四日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十四年十一月二十四日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十四年十二月一日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十四年十一月二十四日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は大正十年十一月四日に開始し、同六日に之を締切りたるに、應募總額は三千三百八十口、一億九百二十二萬九千五百七十五圓にして、此の內現金應募は千三百六十二口、三千六百二十九萬二千五百五十圓、代用應募は二千十八口、七千二百九十三萬七千二十五圓なりき。而して募入額は九千萬圓（三千三百八十口）なりしを以て、千九百二十二萬九千五百七十五圓の募入外れを生じたり。應募者の種額別表左の如し。

種類別		千圓未滿		千圓以上一萬圓以上		五萬圓以上十萬圓以上		計	
		口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
官廳		—	円	—	円	—	円	—	円
公共團體		七	三、三〇〇	一九	四九、四二五	一	二三、五〇〇	二	一五、五〇〇
社寺銀行會社		九	三、九五〇	三	九、九五〇	一	一〇、五〇〇	一三	二四、四〇〇
團法人及財團法人		三	一、一七五	五	二五、三七五	七	一四、一、九〇〇	一八	六五、四二六、八七五
法人に非ざる組合其他の團體		—	—	三	六、八五〇	二	三、三二五	五	一、四二九、六七五
個人		一、〇七一	三八二、三五〇	一、一二三	二、七四四、七二五	一	一〇、〇〇〇	四	二八六、三〇〇
公債賣買業者		一	三〇〇	二	五、三〇〇	八	一九、四五〇	一一	二四、六四八、八二五
外國人		—	—	一	二、〇〇〇	—	—	一	五、〇〇〇
合計		一、〇九二	三九一、〇七五	一、一六二	二、八九七、〇七五	二八一	五、一二五、九五〇	一〇八	六、九九八、九七五

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募九十二圓、代用應募九十一圓五十錢にして、代用證券の代用價格は同上に付百一圓二十五錢とす。應募金の拂込は、現金にありては大正十年十一月十二日に五圓（保證金充當）、同月二十四日に八十七圓の二回に、代用證券にありては十一月二十四日迄に拂込むべきものとす。每期の拂込額及拂込延滯利子額左の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期	八五四、三一三・七五〇円	— 円	代用拂込	六六、七一六、〇五七・二八〇円	— 円
第二期	一四、八六五、〇五九・二五〇	一七・七二〇	計	八二、四三五、四三〇・二八〇	一七・七二〇

此の拂込金八千二百四十三萬五千四百三十圓二十八錢、及拂込延滯利子十七圓七十二錢は、十四年十一月二十五日より十二月二十八日迄に全部國庫に納入せられたり。右實收金は起債の目的に從ひ、全部五分利國庫債券（第九回）の償還に充當せられ、又其の公債金の負擔は全部一般會計に歸屬した

り。

第七十三款　五分利國庫債券（第二十八回）

五分利國庫債券（第二十八回）千五百萬圓は、鐵道事業費充當の爲め發行せられたるものにして、大正十四年十一月七日大藏省告示第百五十七號を以て發行のことを、同月十二日遞信省告示第千六百八十號、同月二十四日朝鮮總督府告示第三百十五號、及同月二十五日臺灣總督府告示第百五十九號を以て郵便局賣出のことを公示し、十一月二十五日を以て之を發行したり。發行の要領左の如し。

大藏省告示第百五十七號（大正十四年十一月七日）

一五分利國庫債券（第二十八回）額面千五百萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種

發行價格　額面百圓ニ付九十一圓八十錢

償還期限　大正二十六年三月一日迄

利率　年五分

利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

初期利子（大正十五年三月一日渡）　額面百圓ニ付一圓二十五錢

右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ大正十四年十一月二十五日之ヲ發行ス

本債券の賣出は大正十四年十一月二十五日より十二月十日迄に行はれ、總額五百八十五萬千九百五十圓の賣渡ありたり。

本債券の發行價格は額面百圓に付九十一圓八十錢なりしを以て、實收總額は千三百七十七萬圓となり、此の實收金は起債の目的に從ひ、全部鐵道事業費に供せられ、公債金の負擔は帝國鐵道特別會計に歸屬したり。

第七十四款　五分利國庫債券（第二十九回）

五分利國庫債券（第二十九回）六千五百萬圓は、大正十四年二月發行臨時國庫證券（く號）一億圓の償還に資する爲め發行せられたるものにして、大正十五年一月二十日大藏省令第二號を以て發行規程を定め、一般公募に附したり。發行規程の全文左の如し。

五分利國庫債券（第二十九回）發行規程（大正十五年一月二十日大藏省令第二號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第二十九回）六千五百萬圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十二圓五十錢

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十二圓

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十五年十二月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十五年六月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓五十四

錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十五年一月二十八日ヨリ同三十日迄トス但シ時宜ニ依リ同三十日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十五年二月五日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十五年二月五日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十五年二月九日　募入額百圓ニ付八十七圓五十錢

前項ノ規程ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　臨時國庫證券（く號）ハ額面金額ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十五年二月九日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十五年二月九日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額ハ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十五年二月十三日以後領收書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十五年二月九日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は、大正十五年一月二十八日より同三十日迄に爲されたるが、應募總額千四百三口、九千七百六十二萬五千六百二十五圓に達し、內現金應募は九百七十六口、二千七百九十一萬九千八百七十五圓、代用應募は四百二十七口、六千九百七十萬五千七百五十圓なりき。斯くの如く代用應募のみを以て滿額に達したれば、政府は代用應募額中より六千五百萬圓(四百二十一口)を募入することとし、其の超過額及現金應募分全部合計三千二百六十二萬五千六百二十五圓は之を募入外れと爲したり。

應募者の種類別を表示すれば左の如し。

種類別	千圓未滿		千圓以上		一萬圓以上		五萬圓以上		十萬圓以上		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
		円		円		円		円		円		円
官廳	一	一、〇〇〇	一	三、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	二	二、〇〇〇
公共團體	三	一、〇五〇	二	四五、六七五	一	二七、九三五	一	二七、九三五	一	一、七二、九三五	一四	四六、七三五
社寺	一	五〇〇	二	三、九〇〇	一	二七、〇〇〇	一	二七、〇〇〇	一	一、七二、〇〇〇	三	四、四〇〇
銀行	一	六〇〇	一七	七三、〇〇〇	一三	二七九、九三五	一	一、七二、九三五	一七	一〇〇、〇〇〇	三五	五五、九九、一五〇
會社	一	一	二	七、〇〇〇	一	一六、〇〇〇	一	六五、〇〇〇	一	一〇〇、〇〇〇	一八八、〇〇〇	
財團法人及社團法人	一	五〇〇	二	五、〇〇〇	一	二七、〇〇〇	一	二七、〇〇〇	一	一〇〇、〇〇〇	五	五、五〇〇
法人に非ざる組合其他の團體	一	二〇〇	一	一、〇〇〇	一	二七、〇〇〇	一	二七、〇〇〇	一	一〇〇、〇〇〇	三	二〇〇
個人	三六九	一〇五、八二五	四三〇	一、〇四九、九二五	一三五	二、一三五、一五〇	二八	二、〇八五、七二五	二九	七、三六三、六〇〇	九九一	一二、七四〇、二七五
公債賣買業者	一	一、〇〇〇	一	一、二〇〇	一	二、〇〇〇	一	七〇、〇〇〇	二〇	二八、九六四、一七五	三三	二九、〇三五、三七五
外國人	一	一、〇〇〇	四六七	四〇、〇〇〇	一三九	二、四三、一〇七五	六七	三、九四〇、二七五	二六	八九、九五三、九〇〇	一、一七五	九七、六三五、六二五
合計	三六九	一〇八、六七五	四六七	一、一九一、七〇〇	一三九	二、四三、一〇七五	六七	三、九四〇、二七五	二六	八九、九五三、九〇〇	一、一七五	九七、六三五、六二五

本債券の發行價格は額面百圓に付現金應募九十二圓五十錢、代用應募九十二圓なりしが、現金應募

は全部募入外れとなりたるを以て、拂込は全部代用證券にして（拂込十五年二月九日限）、其の拂込額（實收金）五千九百八十萬圓なりき。右の實收金は起債の目的に從ひ臨時國庫證券（く號）の償還に充當せられ、其の負擔は全部一般會計に歸屬したり。

第七十五款　五分利國庫債券（第三十回）

五分利國庫債券（第三十回）千五百萬圓は、鐵道事業費（五百萬圓）及震災善後費（千萬圓）に充當の爲め發行せられたるものにして、大正十五年二月二日大藏省告示第十一號を以て發行のことを、同月十日逓信省告示第二百五十三號、同月十九日朝鮮總督府告示第四十四號、及同月十八日臺灣總督府告示第十九號を以て郵便局賣出のことを告示し、二月二十五日之を發行したり。發行の要領左の如し。

大藏省告示第十一號（大正十五年二月二日）

一五分利國庫債券（第三十回）額面千五百萬圓

額面金額種類	二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種
發行價格	額面百圓ニ付九十二圓四十錢
償還期限	大正二十六年三月一日迄
利率	年五分
利子支拂期	三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日
初期利子（大正十五年六月一日渡）	額面百圓ニ付一圓二十四錢

右帝國鐵道會計法第二條及震災善後公債法第一條ニ依リ大正十五年二月二十五日之ヲ發行ス

本債券の賣出は大正十五年二月二十五日より三月十日迄に行はれ、總額五百一萬七千圓の賣渡ありたり。

本債券の發行價格（賣出價格）は額面百圓に付九十二圓四十錢なりしを以て、實收總額は千三百八十六萬圓にして、此の內九百二十四萬圓は震災善後費に、四百六十二萬圓は鐵道事業費に充當せられ、其の負擔は一般會計所屬千萬圓、帝國鐵道特別會計所屬五百萬圓となりたり。

第七十六款　五分利國庫債券（第三十一回）

大正十四年二月發行臨時國庫證券（く號）一億圓は、曩に五分利國庫債券（第二十九回）六千五百萬圓を以て其の大半を借換へたるが、尙ほ額面約四千萬圓を剩せしが故に、政府は此の分の償還に就きては日本銀行の引受を以て資金を調達することと爲し、大正十五年二月十三日額面四千百五十萬圓の五分利國庫債券（第三十一回）の特別發行を行ひたり。發行の要領左の如し。

大藏省告示第十五號（大正十五年二月十二日）

一五分利國庫債券（第三十一回）額面四千百五十萬圓

發行價格	額面百圓ニ付九十九圓四十錢
償還期限	大正十六年三月一日迄
利率	年五分
初期利子（大正十五年六月一日渡）	額面百圓ニ付一圓四十八錢

右國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ大正十五年二月十三日之ヲ發行ス

本債券の發行價格は額面百圓に付九十九圓四十錢なりしを以て、實收總額は四千百二十五萬千圓となり、此の實收金は起債の目的に從ひ、全部二月十三日償還期限の前記「く號」證券の償還に充てられたり。

第七十七款　五分利國庫債券（第三十二回）

五分利國庫債券（第三十二回）一億圓は、大正十年八月發行臨時國庫證券（を號）一億圓の借替の爲めに發行したるものにして、大正十五年四月二十九日大藏省令第二十號を以て發行規程を定め、五月八日より一般公募に附したり。發行規程の全文左の如し。

五分利國庫債券（第三十二回）發行規程（大正十五年四月二十九日大藏省令第二十號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第三十二回）額面一億圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十二圓

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓五十錢

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十六年六月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十五年九月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓三十六錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十五年五月八日ヨリ同十一日迄トス但シ時宜ニ依リ同十一日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ大正十五年五月八日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十五年五月十九日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十五年五月十九日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十五年五月二十五日　募入額百圓ニ付八十七圓

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　臨時國庫證券(を號)ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ大正十五年六月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及其ノ額面總額ヲ甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十五年五月二十五日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十五年五月二十五日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十五年六月一日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十五年五月二十五日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は大正十五年五月八日より同十一日迄に爲されたるが、應募總額は二千九百六十六口、一億五百九十五萬五千六百二十五圓にして、內現金應募は一千二百七十九口、三千九十萬八千九百五十圓、代用應募は千六百八十七口、七千五百四萬六千六百七十五圓なりき。應募者の種類別を表示すれば左の如し。

種類別	千圓未滿		千圓以上		一萬圓以上		五萬圓以上		十萬圓以上		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
官廳	—	円 —	一	円 六、〇五〇	—	円 —	—	円 —	—	円 —	—	円 —
公共團體	七	三、〇五〇	一四	三七、四七五	六	三〇三、四〇〇	—	—	—	—	二	四三八、六七五
社寺	五	一、六五〇	四	一二、三五〇	一	三五、〇〇〇	—	—	一	九二五、〇〇〇	一八	一、一五七、九二五
銀行	四	一、五〇〇	三	九七、七二五	五〇	一、一八三、四二五	一八	一、一四六、二七五	—	—	一〇	四八、〇〇〇
會社	一	六〇〇	四	一四、二〇〇	七	二二五、六〇〇	二	一〇四、五〇〇	四	一、四八〇、四二五	一八	一、八二五、三二五
財團法人及法人に非ざる組合其他の團體	五	一、五七五	六	二五、五五〇	四	八六、四二五	—	—	—	—	一五	一二三、五五〇
個人	二	六〇〇	三	一七、一〇〇	一	一五、〇〇〇	—	一、六二一、三〇〇	—	—	六	三三、七〇〇
公債賣買業者	八二九	二九八、一五〇	一〇〇四	二、五七三、八二五	一七九	二、九〇八、六七五	二三	五六四、六七五	三八	九、三三、八七五	二、〇七三	一六、七〇三、八二五
外國人	—	—	一	一〇〇	二	三六、〇〇〇	九	一、四二六、七五〇	一三	一六、七六九、一二五	二九	一七、三九一、五五〇
合計	八五四	三〇七、四三五	一、〇六二	二、八〇五、七三五	二五一	四、六九五、五二五	五三	三、四二六、七五〇	一四五	九四、七三〇、一〇〇	二、三六四	一〇五、九五五、六二五

尙ほ本債券募入額一億圓（二千九百六十六口）中、後に至り申込の失效したるもの額面三百圓ありたるを以て、結局發行確定高は九千九百九十九萬九千七百圓となりたり。

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募九十二圓、代用應募九十一圓五十錢にして、代用證券の代用價格は同上に付百一圓二十五錢なり。又應募金の拂込は現金にありては十五年五月十九日（五圓）、同月二十五日（八十七圓）の二回に、代用證券拂込にありては五月二十五日迄とす。毎期の拂込額及拂込延滯利子左表の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期	円 一、二四七、九七八・七五〇	円	代用拂込	円 六八、六六一、七一二・七三〇	円
第二期	二一、七一四、八三〇・二五〇	八一・三八〇	計	九一、六二四、五二一・七三〇	八一・三八〇

此の拂込金九千百六十二萬四千五百二十一圓七十三錢及拂込延滯利子八十一圓三十八錢は、十五年五月二十七日より同年九月二日迄に全部國庫に收入したり。而して右の實收金は起債の目的に從ひて、全部前記臨時國庫證券の償還に充てられ、其の負擔は一般會計に屬することとなれり。

第七十八款　五分利國庫債券（第三十三回）

五分利國庫債券（第三十三回）千五百萬圓は、鐵道事業費充當の爲め發行せられたるものにして、大正十五年五月十二日大藏省告示第六十八號を以て發行のことを、同月十七日遞信省告示第千三十七號、同月十九日朝鮮總督府告示第百七十二號、及び同月二十五日臺灣總督府告示第七十五號を以て郵便

局賣出のことを告示し、五月二十五日之を發行したり。發行の要項左の如し。

大藏省告示第六十八號（大正十五年五月十二日）

一五分利國庫債券（第三十三回）額面千五百萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種

發行價格　額面百圓ニ付九十一圓五十錢

償還期限　大正二十七年九月一日迄

利　率　年五分

利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

初期利子（大正十五年九月一日渡）　額面百圓ニ付一圓二十五錢

右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ大正十五年五月二十五日之ヲ發行ス

本債券の賣出は十五年五月二十五日より六月十日迄に行はれ、總額二百七十九萬三千百圓の賣渡ありたり。

本債券の發行價格（賣出價格）は額面百圓に付九十一圓五十錢なりしを以て、實收總額は千三百七十二萬五千圓となり、右實收金は起債の目的に從ひ鐵道事業費に供せられ、其の負擔は帝國鐵道特別會計の所屬となれり。

第七十九款　五分利國庫債券（第三十四回）

五分利國庫債券（第三十四回）六千萬圓は、大正十年九月臨時軍事費支辨の爲め發行したる五分利國庫債券（む號）五千萬圓の借換の爲め起債せられたり。其の發行規程は大正十五年七月二十一日大藏省令第二十八號を以て左の如く定められ、八月二日より一般公募に附せられたり。

五分利國庫債券（第三十四回）發行規程（大正十五年七月二十一日大藏省令第二十八號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第三十四回）六千萬圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓七十五錢

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓二十五錢

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十七年三月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十五年十二月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓三十六錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十五年八月二日ヨリ同四日迄トス但シ時宜ニ依リ同四日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ大正十五年八月二日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキ

モノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十五年八月十一日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十五年八月十一日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十五年八月二十五日　募入額百圓ニ付八十六圓七十五錢

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　五分利國庫債券（む號）ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ大正十五年九月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十五年八月二十五日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十五年八月二十五日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十五年九月一日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十五年八月二十五日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は大正十五年八月二日に開始し、同四日之を締切りたるに、應募總額は千七百九十一口、六千七百四十一萬二千七百二十五圓にして、內現金應募九百十口、二千百十九萬八千七百七十五圓代用應募八百八十一口、四千六百二十一萬三千九百五十圓なりき。應募者の種類別表左の如し。

種類別		千圓未滿		千圓以上		一萬圓以上		五萬圓以上		十萬圓以上		計	
		口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
			円		円		円		円		円		円
官廳		一		一		一		一		一	三八、三三五	一	三八、三三五
公共團體		三	一、〇〇〇	七	三一、二七五	一	一四、一五〇	一		一		一〇	三三、二七五
社寺		四	一、九二五	三	六、八〇〇	一	一六七、二七五	一	八三、九〇〇	一		九	一九〇、一五〇
銀行		二	九〇〇	一六	五七、一〇〇	二九	七五七、三三五	二	五〇、〇〇〇	七三	四五、六九九、九七五	一五〇	四七、三八、二〇〇
會社	團法人及財團法人	一		二	一〇、七五〇	二	五三、一七五	一	五〇、〇〇〇	五	一、四三七、二二五	一〇	一、五五〇、一五〇
	法人に非ざる組合其他の團體	三	七〇〇				一二、〇〇〇			一	四九九、二七五	五	五二、九七五
個人		二	七五〇	二	三、五〇〇	一	一六、〇〇〇					五	二〇、一五〇
		五七四	一九八、三二五	五五五	一、二九二、一〇〇	一二九	二、一二九、七二五	二三	一、五四〇、三二五	二八	四一、一一〇、三五〇	一、三〇九	九、二四〇、八二五
公債賣買業者		一	五〇	二	三、〇〇〇	五	一〇九、七五〇	四	二四三、一五〇	一三	七、七九四、〇〇〇	二四	八、一五〇、〇七五
外國人		一	五〇〇										
合計		五九〇	二〇四、一五〇	五七	一、三七四、六二五	一六八	三、〇九一、一五〇	三九	二、六四六、三七五	一三〇	六〇、〇九六、四二五	一、五〇四	六七、四二二、七二五

尙ほ本債券の募入額六千萬圓（千七百九十一日）中、後に至り申込の失效したるもの額面百圓ありたるを以て、發行確定高は結局五千九百九十九萬九千九百圓となりたり。

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募に在りては九十一圓七十五錢、代用應募にありては九十一圓二十五錢にして、代用證券の代用價格は同上に付百一圓二十五錢とす。又現金の拂込は大正十五年八月十一日に五圓（保證金振替）、同月二十五日八十六圓七十五錢の二回に、代用證券に依る拂込は八月二十五日迄なりとす。每期の拂込額及拂込延滯利子左の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期	六八九、八二三・七五〇円	二三・八三〇円	代用拂込	四二、一六〇、六二四・二三〇円	—
第二期	一一、九六八、四四〇・六五〇		計	五四、八一八、八八九・六三〇	二三・八三〇

此の拂込金五千四百八十一萬八千八百八十九圓六十三錢、及拂込延滯利子二十三圓八十三錢は、十五年八月三十日より同年十月五日迄の間に全部國庫に收入し、其の實收金は起債の目的に從ひて五分利國庫債券（む號）の償還に充當せられ、公債金の負擔は全部一般會計に歸屬したり。

第八十款　五分利國庫債券（第三十五回）

五分利國庫債券（第三十五回）千萬圓は、鐵道事業費（七百萬圓）及臺灣事業費（三百萬圓）充當の爲め發行せられたるものにして、大正十五年八月五日大藏省告示第百五號を以て發行のことを、同月十一日遞信省告示第千五百五十號、同月二十一日朝鮮總督府告示第二百五十四號、及同月二十八日臺灣總督府告示第百十二號を以て郵便局賣出のことを公布し、九月一日之を發行したり。發行要項左の如し。

大藏省告示第百五號（大正十五年八月五日）

一五分利國庫債券（第三十五回）額面一千萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發行證券ハ二十五圓乃至五百圓ノ四種

發行價格　額面百圓ニ付九十一圓四十錢

償還期限　大正二十七年九月一日迄

利率　年五分

利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

初期利子（大正十五年十二月一日渡）　額面百圓ニ付一圓二十五錢

右帝國鐵道會計法第二條及臺灣事業公債法第一條ニ依リ大正十五年九月一日之ヲ發行ス

本債券の賣出は九月一日より同月二十日迄に行はれ、總額二百九十三萬八千七百二十五圓の賣渡ありたり。

本債券の發行價格（賣出價格）は額面百圓に付九十一圓四十錢なりしを以て、實收總額は九百十四萬圓となり、此の內六百三十九萬八千圓は鐵道事業費、二百七十四萬二千圓は臺灣事業費の支辨に供せられ、公債金の負擔は帝國鐵道特別會計七百萬圓、臺灣總督府特別會計三百萬圓となりたり。

第八十一款　五分利國庫債券（第三十六回）

五分利國庫債券（第三十六回）六千萬圓は、大正十一年五月臨時軍事費充當並に五分利國庫債券（は號）借換の爲め發行したる、同債券（え號）五千二百萬圓の借換の爲め起債せられたるものとす。其の發行規程は大正十五年十月二十六日大藏省令第四十五號を以て左の如く定められ、十一月八日より一般公募に附せられたり。

五分利國庫債券（第三十六回）發行規程（大正十五年十月二十六日大藏省令第四十五號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第三十六回）六千萬圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓七十五錢

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓二十五錢

第三條　本國庫債券ノ元金ハ大正二十七年十二月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ大正十六年三月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓三十五錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ大正十五年十一月八日ヨリ同十日迄トス但シ時宜ニ依リ同十日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ大正十五年十一月八日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ大正十五年十一月十七日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　大正十五年十一月十七日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　大正十五年十一月二十五日　募入額百圓ニ付八十六圓七十五錢

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　五分利國庫債券(え號)ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ大正十五年十二月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ大正十五年十一月二十五日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ大正十五年十一月二十五日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ大正十五年十二月一日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ大正十五年十一月二十五日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は大正十五年十一月八日に開始し、同十日之を締切たるに、應募總額二千七百三十九口、六千七百五十五萬八千三百圓にして、此の內現金應募は九百九十六口、二千百五十八萬三千百五十圓、代用應募は千七百四十三口、四千五百九十七萬五千百五十圓なりき。而して募入額は六千萬圓（三千七百三十九口）なりしを以て、七百五十五萬八千三百圓の募入外れを生じたり。應募者の種類別を表示すれば左の如し。

種類別	千圓未滿		千圓以上		一萬圓以上		五萬圓以上		十萬圓以上		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
官廳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公共團體	二	九二五円	一	一六	三、九〇〇円	三四、七五五	—	—	一	三〇〇、〇〇〇円	三	三三、九〇〇円
									—	—	六	三五、七〇〇

社寺	七	三、一〇〇円	二	六、七〇〇円	—	一、二三二、六〇〇	円	一	七三、七三五円	—	二七、八六七、一七五	円	一〇	八三、五二五円			
銀行	四	一、三〇〇	一二	五五、一七五	四四	六八、〇〇〇		二五	一、六八八、三〇〇	四八	一、二五五、二七五		二一	三〇、七四四、六五〇			
會社	一	五〇〇	三	一三、一〇〇	四	六、一〇〇		一	九三、〇〇〇	二	—		五	一、四二八、八七五			
財團法人及法人に非ざる組合其他の團體	二	一、一〇〇	二	六、一〇〇	一	二八、三〇〇		—	—	—	—		—	三五、六〇〇			
個人	二	七〇〇	五	八、四〇〇	—	二、七一〇、〇五〇		—	一、九八九、七五〇	一	一、二五、二七五		八	五五四、七五〇			
公債賣買業者	九六	三六三、三五〇	一、〇五〇	二、四七五、二五〇	一四九	二、七一〇、〇五〇		三〇	一、九八九、七五〇	三三	一三、五〇、五二五		二、二九	二〇〇、〇八、九二五			
外國人	—	—	一	三、三〇〇	四	二一二、九二五		二	一三九、三〇〇	一二	一四、〇七七、八五〇		一八	一四、三三、二七五			
合計	九六	三六〇、九七五	一、〇九三	二、六〇七、九〇〇	二〇三	四四、〇四一、八七五		毛	三、九七三、九七五	九五	五六、五五四、五七五		二、四三	六七、五五六、三〇〇			

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募九十一圓七十五錢、代用應募九十一圓二十五錢にして代用證券の代用價格は同上に付百一圓二十五錢とす。又應募金の拂込は、現金にありては大正十五年十一月十七日に五圓（保證金充當）、同月二十五日に八十六圓七十五錢の二回に、代用拂込にありては十一月二十五日迄に爲さるべきものとす。每期の拂込額及拂込延滯利子左の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期	七〇一、二五二・五〇〇円	円	代用拂込	四一、九五二、一三九・四七〇円	円
第二期	一二、一六六、七三〇・一六〇	一〇九・七五〇	計	五四、八二〇、一二二・一三〇	一〇九・七五〇

右拂込金五千四百八十二萬百二十二圓十三錢、及拂込延滯利子百九圓七十五錢は、大正十五年十二月一日より昭和二年一月十八日迄の間に全部國庫に收入したり。此の實收金は起債の目的に從ひて、五分利國庫債券（え號）の償還に充てられ、公債金の負擔は全部一般會計に歸屬したり。

第八十二款　五分利國庫債券（第三十七回）

五分利國庫債券（第三十七回）八千萬圓は、大正十年十月發行五分利國庫債券（の號）五千五百萬圓、及同十五年二月發行五分利國庫債券（第三十一回）四千百五十萬圓、合計九千六百五十萬圓の償還に資するため發行せられしものにして、其の發行規程は昭和二年一月二十二日大藏省令第二號を以て定められ、同年二月三日より同五日迄に一般公募に附せられたり。之より曩き大正十五年十二月二十一日大藏省告示第七十四號を以て、大正十六年一月十五日に於て、帝國鐵道會計法第二條に依り額面千五百萬圓の五分利國庫債券を發行する旨の告示あり、而して同債券を以て五分利國庫債券（第三十七回）と爲すの豫定なりしが、同債券は都合に依り昭和元年十二月二十八日大藏省告示第三號を以て、之が發行を取消したるを以て、右に次ぎて發行を決定せられたる本債券を以て五分利國庫債券（第三十七回）と稱することと爲せしものなり。其の發行規程の全文左の如し。

五分利國庫債券（第三十七回）發行規程（昭和二年一月二十二日大藏省令第二號）

第一條　政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ五分利國庫債券（第三十七回）額面八千萬圓ヲ發行ス

第二條　本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一　現金拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十二圓

二　第十一條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ　額面金額百圓ニ付九十一圓五十錢

第三條　本國庫債券ノ元金ハ昭和十四年六月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條　本國庫債券ノ利率ハ年五分トス

第五條　本國庫債券ノ昭和二年六月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓三十五錢トス

第六條　本國庫債券ノ應募申込期間ハ昭和二年二月三日ヨリ同五日迄トス但シ時宜ニ依リ同五日前ト雖其ノ申込ヲ締切ルコトアルヘシ

第七條　本國庫債券ノ應募者ハ應募額及住所氏名ヲ記載シタル應募申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ但シ官廳又ハ公共團體其ノ他之ニ準スヘキモノノ應募申込ニハ保證金ヲ要セス

前項ノ保證金ニハ利子ヲ附セス

第八條　本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第九條　本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ昭和二年二月十五日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

募入外ト爲リタルモノノ保證金ハ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十條　本國庫債券ノ應募者ニシテ募入ノ通知ヲ受ケタルモノハ左ノ區分ニ依リ募入額ニ對スル拂込金額ヲ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ要セサルモノノ拂込ニ在リテハ之ヲ第二期ニ繰下ケ其ノ他ノモノニ在リテハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期　昭和二年二月十五日　募入額百圓ニ付五圓

第二期　昭和二年二月二十三日　募入額百圓ニ付八十七圓

前項ノ規定ニ依ル拂込ハ拂込期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第十一條　五分利國庫債券（の號及第三十一回）ハ額面金額百圓ニ付百一圓二十五錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ五分利國庫債券（第三十一回）ノ昭和二年三月一日渡利札ノ欠缺セル證券ノ代用價格ハ其ノ額面金額ニ依ル

第十二條　前條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スヘキ者ノ應募申込、募入決定及拂込其ノ他ノ事項ハ第六條乃至第九條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一　應募申込書ニハ證券ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、記名無記名ノ區別及各其ノ額面總額ヲ、甲種登錄國債ヲ以テスルモノハ國債ノ名稱、登錄番號及登錄金額ヲ附記シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

二　應募申込ト同時ニ代用證券ノ引渡ヲ爲シ又ハ甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込ヲ爲ス場合ニ於テハ保證金ヲ提供スルコトヲ要セス

三　甲種登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

四　全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

五　全部募入外ト爲リタル代用甲種登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

六　代用證券ハ昭和二年二月二十三日迄ニ應募申込ヲ爲シタル取扱銀行ニ之ヲ拂込ムヘシ

七　代用甲種登錄國債ハ昭和二年二月二十三日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

八　證券代用拂込ノ應募申込ニ對スル保證金ハ本條第六號ノ拂込ノ時以後ニ於テ提供者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

九　代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ昭和二年三月一日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十三條　本國庫債券ノ現金拂込ヲ延滯シタルモノハ拂込期日ノ翌日ヨリ現拂込ノ日迄拂込金額百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ支拂フヘシ

現金拂込期日後三箇月內ニ現金拂込ヲ爲ササルモノ又ハ昭和二年二月二十三日迄ニ代用證券ノ拂込ヲ爲ササルモノニ付テハ應募申込ヲ無效トシ既ニ拂込ミタル金額又ハ提供シタル保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十四條　本國庫債券ノ應募者拂込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ追テ之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ拂込ノ現金ニ代用シタルモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

本債券の募集は昭和二年二月三日より五日迄に行はれたるが、應募總額は二千七百十口、一億九百九十六萬千三百七十五圓に達し、此の內現金應募は千八百六口、二千九百八十九萬二千五百圓にして舊債券（の號債券及第三十一回債券）に依る代用應募は九百四口、八千六萬八千八百七十五圓なりしを以て代用應募のみを以て略〻募集額を滿たすことを得たり。左に應募者の種類別及金額を表示すべし。

種類別	千圓未滿 口數	千圓未滿 金額	千圓以上 口數	千圓以上 金額	一萬圓以上 口數	一萬圓以上 金額	五萬圓以上 口數	五萬圓以上 金額	十萬圓以上 口數	十萬圓以上 金額	計 口數	計 金額
官廳	一	円	二	円 八、七〇〇	一	円	一	円	一	円	二	円 八、七〇〇
公共團體	八	二、九二五	六	一六、九二〇	一	四五、〇〇〇	二	一二四、六七五	一	一七	一七	一七九、五二〇
社寺	八	二、一二五	七	一四、一〇〇	一	一	一	一	一	一	一六	一六、二二五
銀行	二	三二五	一五	七二、九二〇	三九	八一九、六二五	三四	二、三二四、七二五	八四	四八、五五一、〇七五	一七四	五一、七六八、六二〇
會社	一	五〇	二	六、〇〇〇	二	四〇、〇〇〇	三	二三三、八〇〇	五	五一、九〇、二七五	一三	五、四六〇、一二五
社團法人及財團法人	一	一	五	一五、五〇〇	一	二〇、〇〇〇	一	一	一	一	六	三三、五〇〇
法人に非ざる組合其他の團體	一	一	二	七、六〇〇	一	一	一	一	一	一	二	七、六〇〇
個人	八九〇	三〇六、六七五	九六五	二、二三五、五七五	二三一	四、〇四二、八二〇	五四	三、一六七、〇七五	四九	一三、二四〇、三二五	二、一八九	二三、九八二、五〇〇
公債賣買業者	一	一	三	八、二〇〇	五	一二七、九五〇	一	五三、五二五	一六	二九、三一六、六五〇	二五	二九、五〇三、三二五
外國人	一	二〇〇	一	一、〇〇〇	一	一	一	一	一	一	二	一、二〇〇

合計	九二〇	三三、一〇〇円	一、〇〇八	二、三四四、五七五円	二七九	五、〇九五、四二五円	九四四	五、八八三、八五〇円	一五四	九六、二九五、三三五円	二、四四五	一〇九、九六一、三七五円

本債券の發行價格は額面百圓に付、現金應募九十二圓、代用應募九十一圓五十錢にして、代用證券の代用價格は同上に付百一圓二十五錢なりとす。拂込は現金に在りては昭和二年二月十五日に五圓（保證金充當）、同月二十三日に八十七圓の二回に、代用證券は同月二十三日迄に拂込むべきものとす。毎期の拂込額及拂込延滯利子左の如し。

拂込期	拂込額	拂込延滯利子	拂込期	拂込額	拂込延滯利子
第一期	一七六、九二六・二五〇円		代用拂込	六九、九六二、二四九・〇五〇円	—
第二期	三、〇七八、五一六・七五〇	三〇・六一〇円	合計	七三、二一七、六九二・〇五〇	三〇・六一〇

右拂込金七千三百二十一萬七千六百九十二圓五錢、及拂込延滯利子三十圓六十一錢は、昭和二年二月二十二日より同年四月八日迄に全部國庫に收納したり。而して此の實收金は起債の目的に從ひ全部五分利國庫債券（の號）及同上（第三十一回）の償還資金に充當せられたり。

第八十三款　五分利國庫債券（第三十八回）

五分利國庫債券（の號）五千五百萬圓及同上（第三十一回）四千百五十萬圓、合計九千六百五十萬圓は、前款に述べたるが如く「第三十七回」債券の實收金七千三百二十餘萬圓を以て、其の大部分を償還せられしが、尙ほ其の殘額の償還の爲め、政府は昭和二年三月一日日本銀行の引受を以て五分利國庫債券（第三十八回）二千四百萬圓を發行したり。其の發行要領次の如し。

大藏省告示第二十六號（昭和二年二月二十六日）

一五分利國庫債券（第三十八回）額面二千四百萬圓

發行價格　額面百圓ニ付九十九圓五十錢

償還期限　昭和三年三月一日迄

利率　年五分

初期利子（昭和二年六月一日渡）　額面百圓ニ付一圓二十六錢

右國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ昭和二年三月一日之ヲ發行ス

本債券の發行價格は額面百圓に付九十九圓五十錢なりしを以て、實收總額は二千三百八十八萬圓となり、此の實收金は全部前記の目的に供せられたり。

第八十四款　五分利國庫債券（第三十九回）

五分利國庫債券（第三十九回）千五百萬圓は、鐵道事業費充當の爲め發行せられたるものにして、昭和二年三月五日大藏省告示第三十號を以て發行のことを、同月八日遞信省告示第五百四十三號、同月十八日朝鮮總督府告示第八十一號、及同月十六日臺灣總督府告示第二十八號を以て郵便局賣出のことを告示し、三月二十五日之を發行したり。發行の要領左の如し。

大藏省告示第三十號（昭和二年三月五日）

一五分利國庫債券（第三十九回）額面千五百萬圓

額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種但シ當初發

發行價格　額面百圓ニ付九十二圓四十錢
債還期限　昭和十三年九月一日迄
利　　率　年五分
利子支拂期　三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日
初期利子（昭和二年六月一日渡）　額面百圓ニ付七十九錢

右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ昭和二年三月二十五日之ヲ發行ス

本債券の賣出は同年三月二十五日より四月十五日迄に行はれ、總額千三百二十四萬五千百七十五圓の賣行ありたり。

本債券の發行價格は額面百圓に付九十二圓四十錢なりしを以て、實收總額は千三百八十六萬圓にして、此の實收金額は全部鐵道事業費に充當せられたり。

第十一節　承繼內國債

政府承繼の國債は之を大別して三となすことを得べし。一は卽ち明治三十九年法律第十七號鐵道國有法第四條及同年法律第十八號京釜鐵道買收法第二條に依りて承繼したる舊私設鐵道會社の債務、二は卽ち明治四十三年韓國併合の結果帝國に於て承繼したる舊韓國政府の債務、三は卽ち大正九年南滿洲鐵道株式會社の增資に當り、政府出資に代へて承繼したる同社の英貨社債なりとす。此等の債務中、外國社債及借入金等に就ては、別に第三章及第七章に於て夫々之を記述することとし、茲には承繼內國債として舊鐵道會社の內國社債、及舊韓國政府の公債のみに就て略說すべし。

第一款　舊鐵道會社社債

前揭鐵道國有法及京釜鐵道買收法に依りて承繼したる舊鐵道會社の債額は內外社債借入金及び手形債務等を通じて、合計四千四百八十四萬三千百三十六圓五十四錢二厘に及び、此の內、內國社債のみに限るも、二千二百八萬二千九百三十圓に達したり。左に承繼內國社債の要項を表示すべし。

（一）明治三十九年度承繼

名稱	債額	利率	利子支拂期	起債年	據置期間	債還期限	承繼年月日	債還濟年月日
舊京釜鐵道株式會社第二回社債	三、〇〇〇、〇〇〇円	六分	一月、六月、三〇日 一二、三一	明治三七年	三箇年	明治四五年四月二七日	明治三九年七月一日	明治四〇年四月三〇日
同第三回社債	三、〇〇〇、〇〇〇	六	〃	〃	〃	〃 七、二七	〃	四二、七、三一
同第四回社債	四、〇〇〇、〇〇〇	六	〃	三八	〃	四六、一〇、二七	〃	〃
舊山陽鐵道株式會社第一回社債	一、四五〇、〇〇〇	六	一月、四月、一〇、一五	二六	明治三一年四月迄	四一、四、一	〃 二、一	四〇、四、三〇
同第二回社債	一、四〇〇、〇〇〇	六	〃	三六	—	五一、五、三一	〃	〃
合計	二、八五〇、〇〇〇							

（二）明治四十年度承繼

名稱	債額	利率	利子支拂期	起債年	據置期間	債還期限	承繼年月日	債還濟年月日
舊北海道鐵道株式會社第一回社債	二、四五〇、〇〇〇円	八分	一月、四月、一〇、一日	明治三六年	明治三八年九月一日迄	明治五一年九月	明治四〇年七月二日	明治四〇年七月三〇日

同第二回社債	一、六〇〇、〇〇〇円	八、五〇〇	一一、四、一一	明治三七年	明治三九年、七、一一迄
舊北越鐵道株式會社第一回社債	一、一〇〇、〇〇〇	七、五	一一、四、一一	三六	一箇年
同第二回社債	一、八〇〇、〇〇〇	七、五	〃	〃	〃
舊總武鐵道株式會社第一回社債	六〇〇、〇〇〇	七、	一一、五、三一	〃	四〇、一二、三一迄
舊房總鐵道株式會社第三回社債	八〇〇、〇〇〇	八、五	一一、六、三〇	〃	〃
同第四回社債	二〇〇、〇〇〇	八、五	〃	三九	〃
舊七尾鐵道株式會社社債	四〇〇、〇〇〇	八、	一一、四、一一	三七	四二、五、四迄
舊德島鐵道株式會社第二回社債	二六〇、〇〇〇	七、五	一二、六、一一	三六	三九、一一、一迄
同第三回社債	三〇〇、〇〇〇	八、	〃	三七	四〇、六、一迄
舊關西鐵道株式會社社債	四、九三〇	六、	一一、四、一一五	〃	五箇年
合計	九、二三、九三〇				

前表に示したるが如く、舊鐵道會社の社債は規約區々にして、取扱上頗る煩瑣なるのみならず、利率概ね六分以上の高利なるを以て、政府は承繼後努めて之が整理償還の促進を圖る所あり、即ち契約の條項に從ひ滿期日に之を償還するは勿論、假令期日前と雖も、苟も契約條項に反せず又は債權者の同意ある限りは、努めて之が償還を實行したり。斯くて明治四十二年度迄に其の大部分を完濟するを得、唯定期支拂の約ありて期限到來前の償還不可能なりし舊總武鐵道會社の社債に限り、大正二年度を以て之を償了したり。而して之が償還財源に就て一言すれば、一般會計又は帝國鐵道特別會計よりの繰入金を以てしたるものなきにあらずと雖も、其の大部分は鐵道國有法第十五條及び京釜鐵道

買收法第十三條に依り整理公債を發行して之に充用したるものなり。即ち明治三十九年十二月大藏省令第四十九號を以て、舊鐵道會社債務整理公債發行規程を制定し、隨時五分利公債證書を發行して日本銀行に交付し、其の實收金を以て之が償還資金に供したるものとす（本章第二節第七款參照）。

承繼社債の年々の償還額及支拂額は、略、前表に依つて之を知るを得べければ茲には之を省き、單に明治四十三年度以降の年度別支拂額を表出するに止むべし。

年度	山陽鐵道	北越鐵道	總武鐵道	德島鐵道	關西鐵道
	（年度末支拂殘額）	（同上）	（年度末償還額）	（年度末支拂殘額）	（同上）
明治四二	二三〇円	三、四〇〇円	四〇〇、〇〇〇円	三四〇円	六、九〇〇円
四三	二〇	二〇〇	九九、〇〇〇	—	四、九八〇
四四	—	二、二〇〇	一〇一、〇〇〇	—	一、六七〇
大正元	—	一、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇	—
二	二〇	—	一〇〇、〇〇〇	—	一六〇
三	八〇	—	—	—	—
四	—	—	—	—	—
五	二〇	—	—	—	—
六	九〇（時效完成）	—	—	—	—
七	—	—	—	二四〇（時效完成）	—
八	—	—	—	—	九〇（時效完成）

又明治四十年度以降大正二年度（最終支拂年度）迄に承繼社債に對して支拂ひたる利子額を表示すれば左の如し。

年度	京釜鐵道	山陽鐵道	北海道鐵道	房總鐵道	德島鐵道	北越鐵道	總武鐵道	七尾鐵道	關西鐵道
明治四〇	四八〇、〇〇〇・〇〇〇円	一〇〇、五三三・六五円	九五、二八二・九七四円	五五、五〇五・四〇〇円	二七、三〇〇・二二〇円	一二二、六六六・八七五円	二一、〇〇〇・〇〇〇円	一五、九八〇・〇〇〇円	六八〇・九六九円
四一	四〇、〇〇〇・〇〇〇	七七・三五〇	六六・六六九	—	二、六七・三三三	三三五、一九三・一二五	四〇、七二八・四三五	三二、〇二〇・〇〇〇	二、五九三・八〇〇
四二	二四五、〇〇〇・〇〇〇	九・〇五〇	一三・三七〇	—	—	一八〇、四五五・三二一	三三、九八六・九〇八	一九、〇六八・四五六	五三・二六九
四三	—	〇・七〇〇	—	—	—	三・七四〇	二五、七二〇・四五六	—	六九・九〇〇
四四	—	—	—	—	—	四一・一四〇	一八、七二八・五六八	—	一八・八五〇
大正元	—	—	—	—	四・八九八	一三七・五六〇	二一、六八六・六五〇	—	—
二	—	—	—	—	—	—	四、六八三・四〇〇	—	一五・三〇〇

第二款　舊韓國政府公債

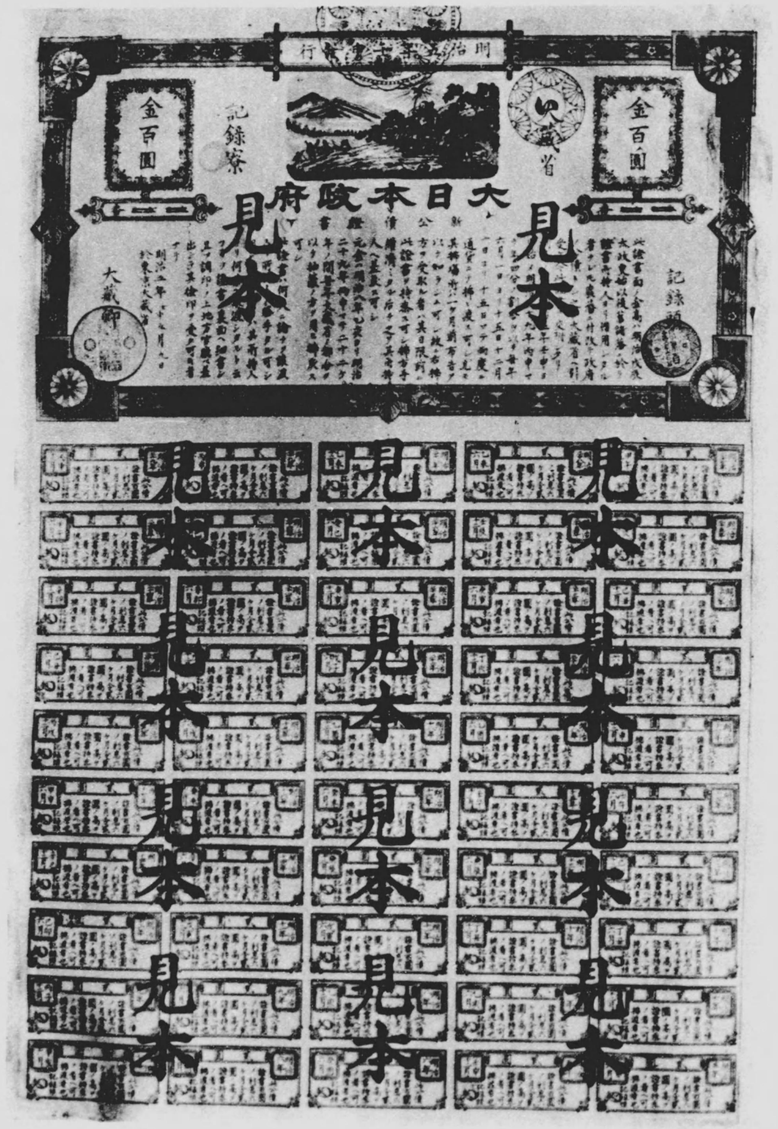
政府が承繼したる舊韓國政府公債は、起業公債及導掌賜金公債の二種にして、之が要項を示せば左の如し。

名稱	債額	利率	起債年月	据置期間	債還期限	引受先
起業公債	一、〇〇〇、〇〇〇円	六分	明治四一年、一二月	五箇年	發行の年より十五箇年	大藏省預金部
導掌賜金公債	一一六、八二五	五分	四三、六	—	同　二十箇年	韓國銀行
合計	一、一一六、八二五					

起業公債百萬圓は韓國政府が各種事業遂行の爲に、我大藏省預金部の引受を以て發行したるものにして（當時韓國に於ける郵便貯金は我大藏省預金部に預託運用せられたるを以て、大藏省は之が資金の還元を適當と認め、韓國政府の要請を容れ之を引受けたり）、本公債の償還期限は大正十一年十二月なりしも、政府は据置期限の經過を待ち、大正二年三月十日を以て全部之を償還したり。而して本公債の爲に帝國政府が支拂ひたる利子額は、明治四十四年度六萬圓、大正元年度八萬五千圓なりき。

導掌賜金公債十一萬六千八百二十五圓は、明治四十一年に於ける韓國財政整理の結果、從來一司七宮に所屬したる宮內府庄土を悉く國有に移屬したる爲め、自然其の職を失ふに至りたる庄土管理者導掌に支給すべき賜金に代へて交付したるものとす。其の償還期限は大正十八年なりしも、別に据置期限の定めなかりしを以て、政府は前記起業公債に踵ぎて、大正二年三月二十日全部之を償還したり。而して本公債の爲に帝國政府が支拂ひたる利子額は、明治四十四年度五千八百四十一圓二十四錢、大正元年度七千三百一圓五十五錢なりき。

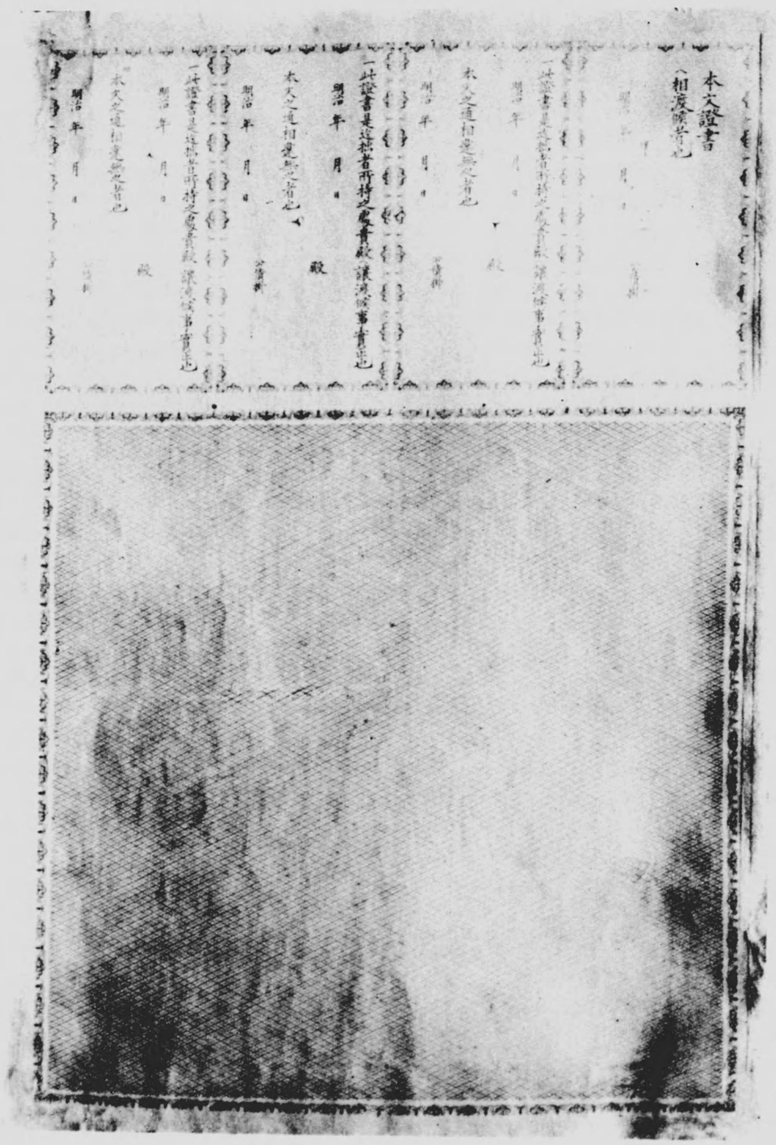
（一）新公債證書（縦一尺一寸七分、横八寸）



二十五圓券（表裏淡藍色）
三百圓券（表裏紅黃色）
五十圓券（表裏淡綠黑色）
五百圓券（表裏淡藍紫色）
百圓券（表裏赤褐黃色）

（表）

(一) 新公債證書



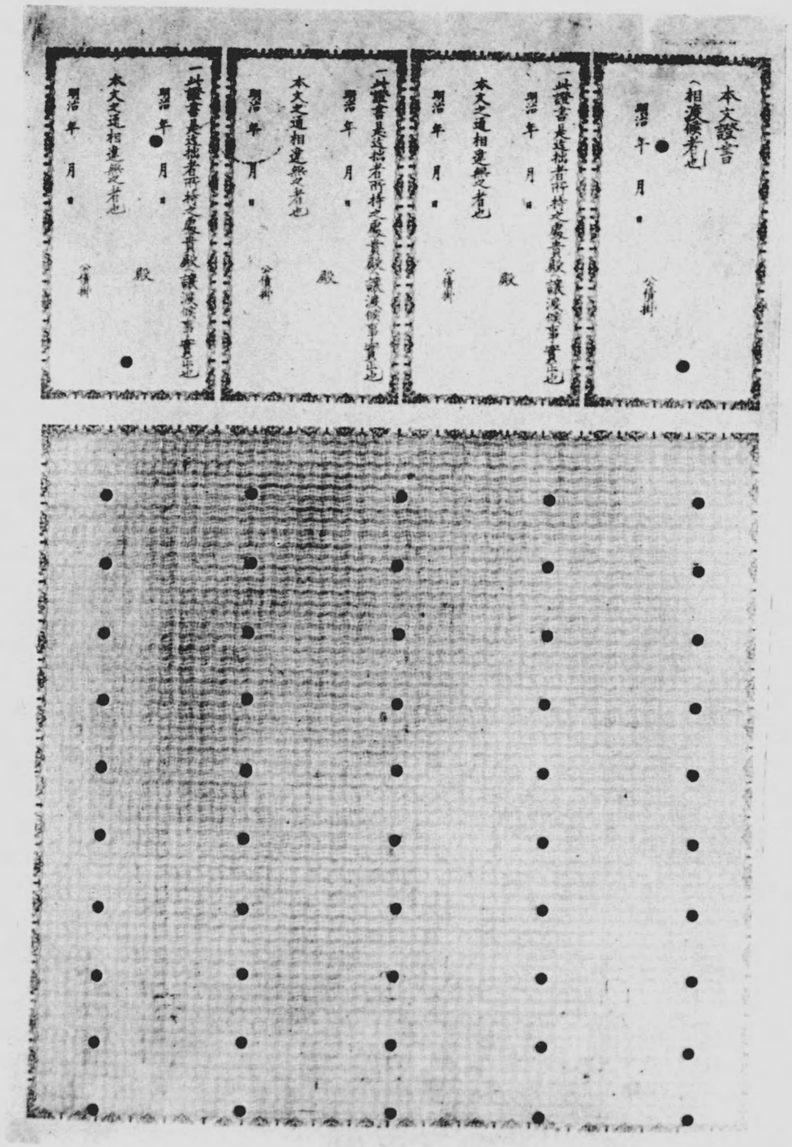
(裏)

(二) 舊公債證書 (縦一尺一寸七分 横八寸)

二十五圓券(表藍 裏赤渋色)
三百圓券(表緑 裏柳黄色)
五十圓券(表大柳柳黄色 裏淡柳黄色)
五百圓券(表黄 裏淡紫色)
百圓券(表赤 裏淡黒色)

(表)

（二）舊公債證書



（裏）

（三）金札引換公債證書（無記名の分）（縦一尺二寸九分 横一尺七分）

五十圓券表裏　日本武尊御東征の圖（裏黄色）
五百圓券表裏　仁德天皇高き家御詠の圖（赤色）
百圓券表裏　汽車の圖（褐色）

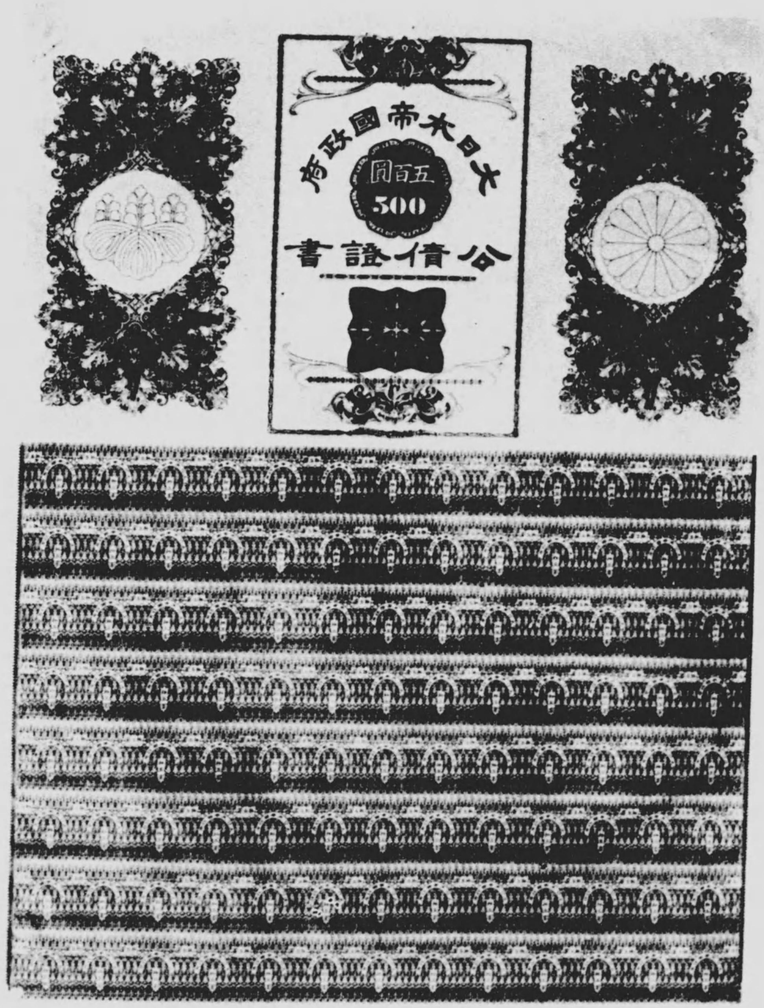
（表）

(四) 秩禄公債證書 (縦一尺一寸六分 横八寸一分)

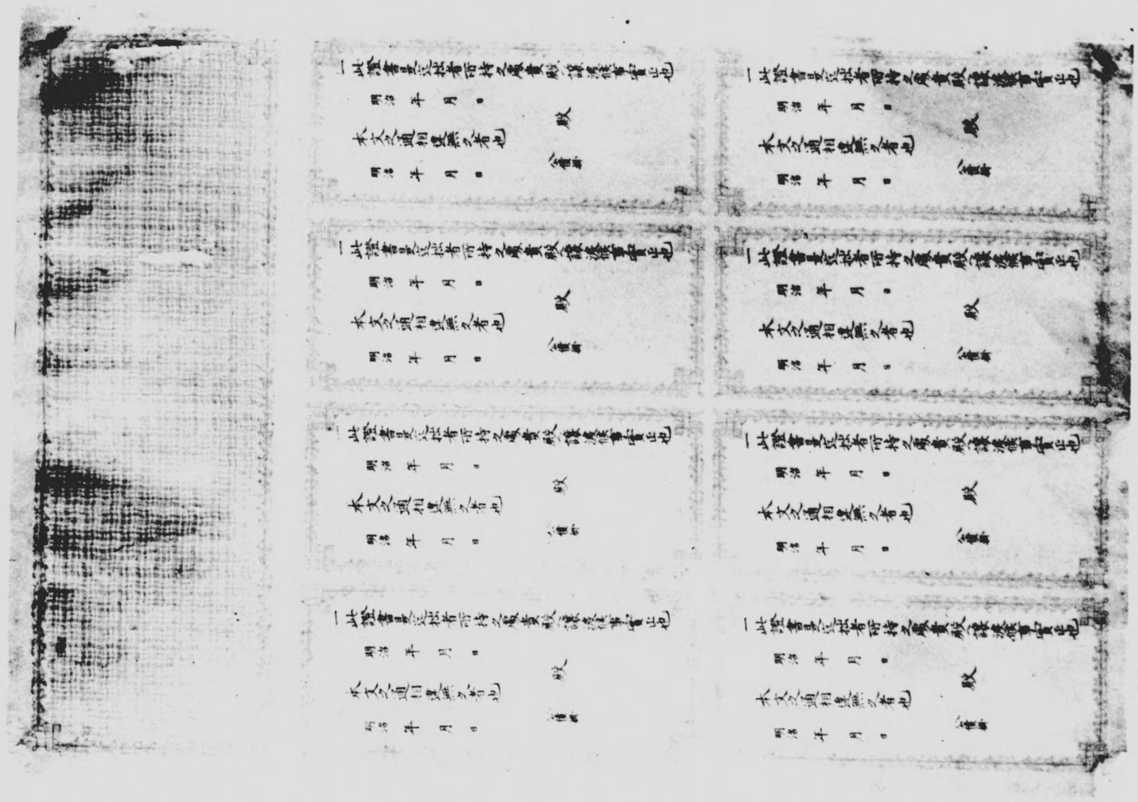
二十五圓券 表 裏 楠正成湊川の図 (藍色)
百圓券 表 裏 平重盛父子諫むる図 (榛黒色)
五十圓券 表 裏 藤原鎌房北山に隠るる図 (淡紫色)
三百圓券 表 裏 源義家鳳雛を見て伏兵を知る図 (紅色)

(表)

(三) 金札引換公債證書

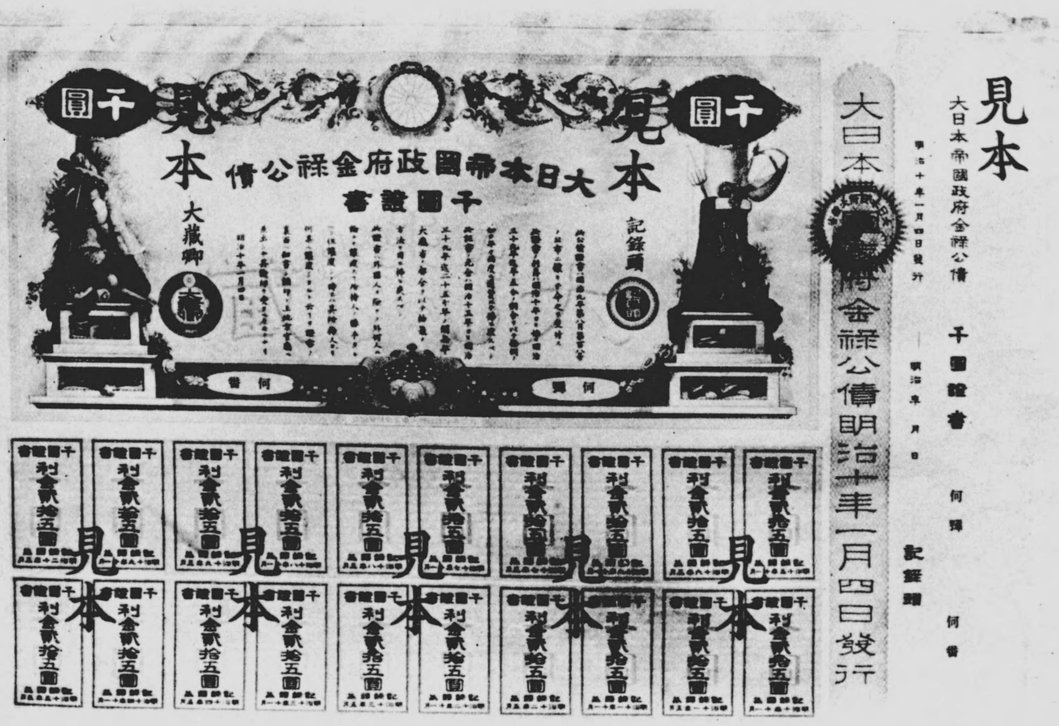


(裏)



（裏）

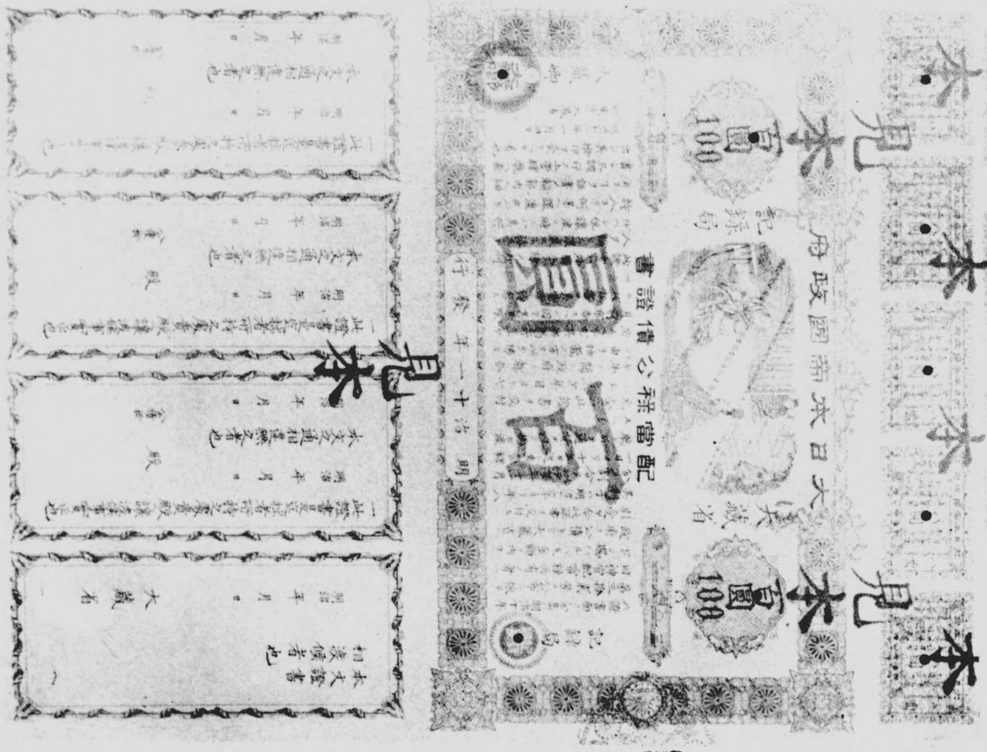
（五）金祿公債證書（縱八寸九分七厘　横二尺二分）



（表）

(分六寸一尺一厘)
(分二寸八厘)

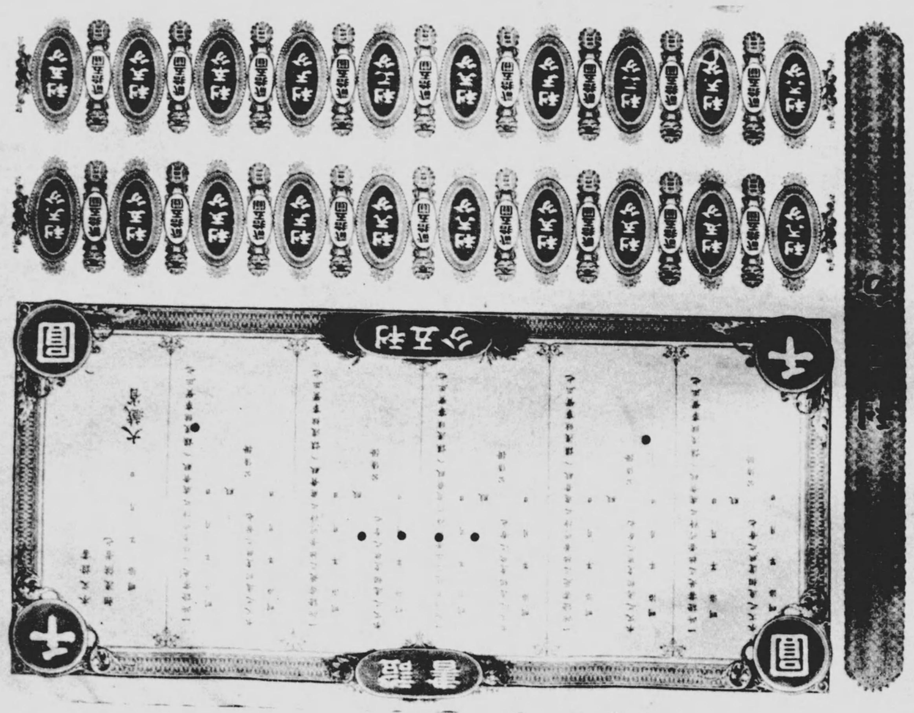
書證債公祿當配官神籍（六）



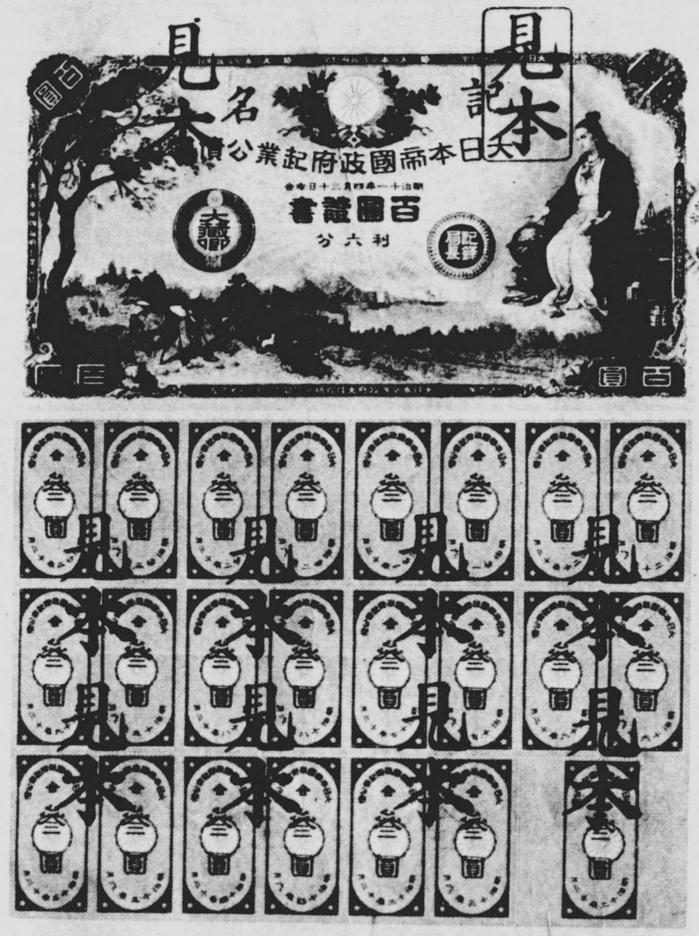
百二十五圓券 東京 東京

二十五圓券 東京 東京

五十圓券 東京



(七) 起業公債證書 (縦九寸三分 横七寸二分)



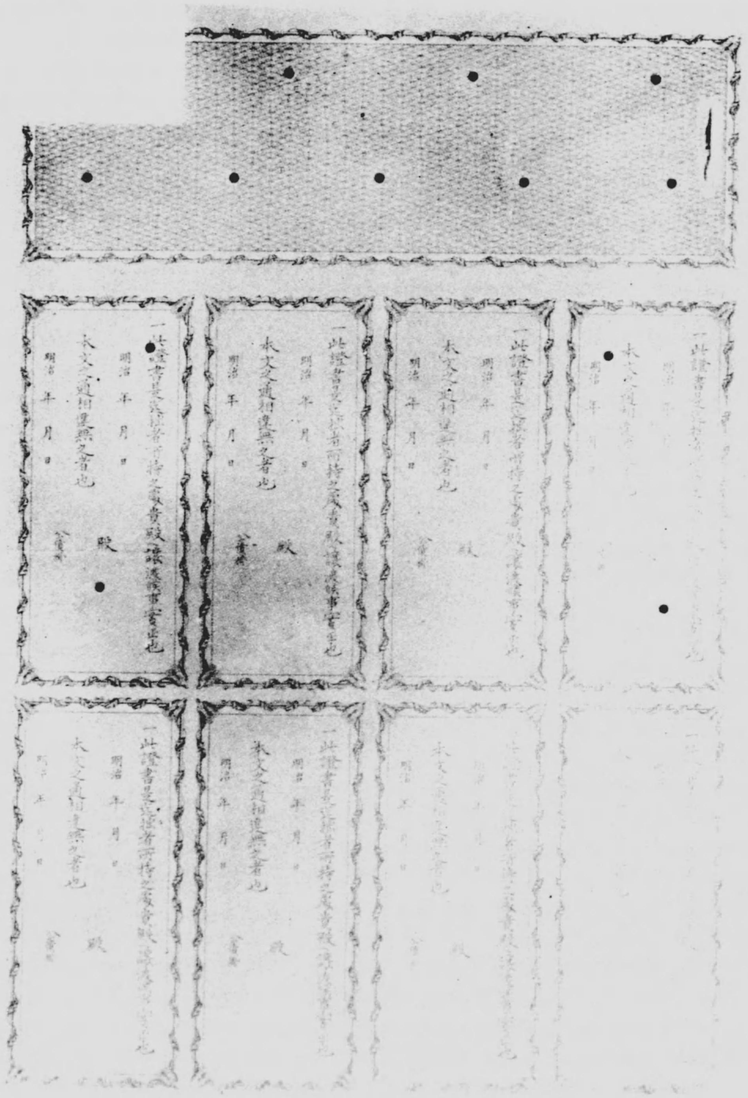
五十圓券(裏表緑黄色)

百圓券(裏表緑黄色)

五百圓券(裏表緑黄色)

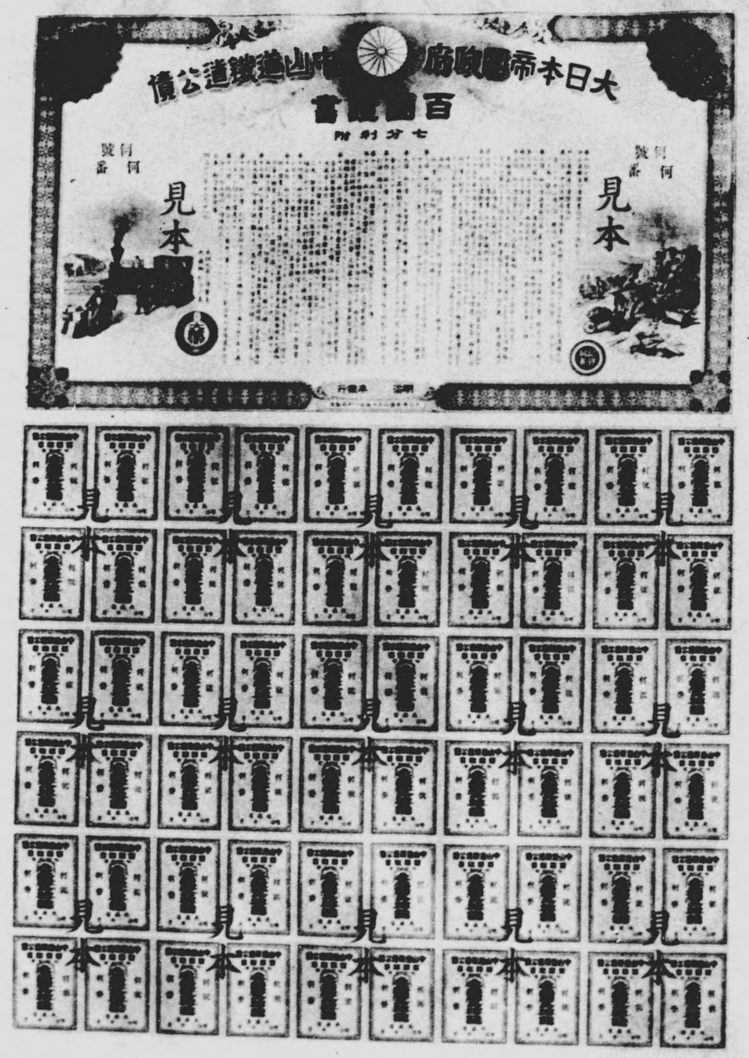
(表)

(六) 舊神官配當祿公債證書



(裏)

(八) 中山道鐵道公債證書 (縦一尺九寸 横一尺三寸四分)



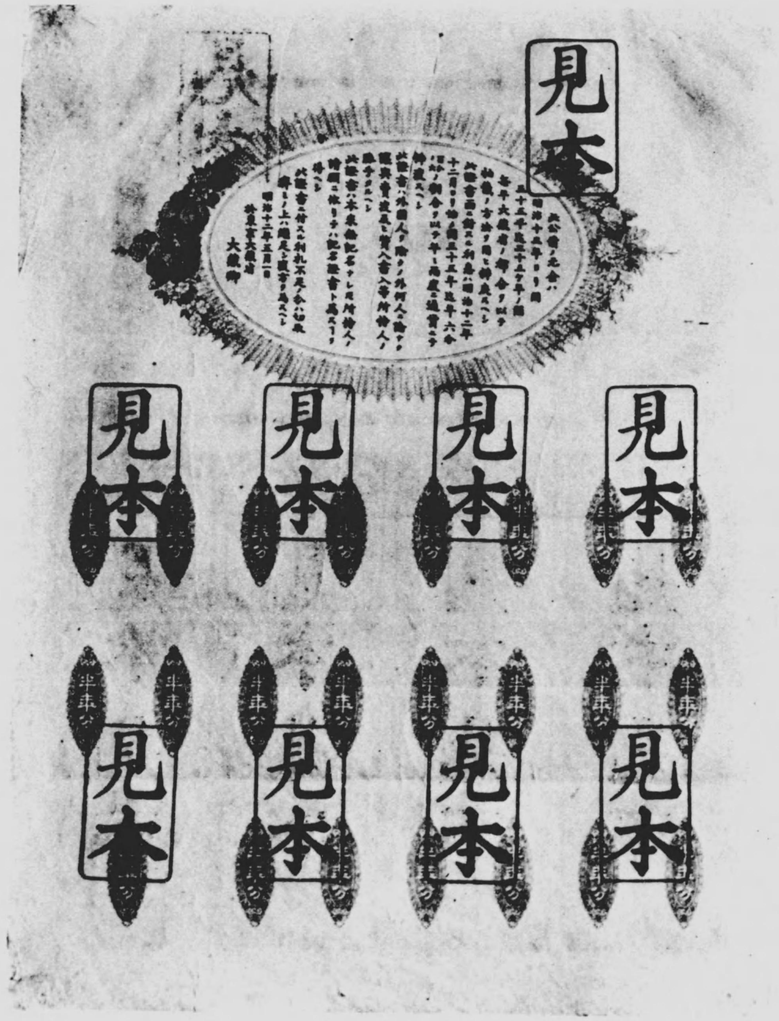
百圓券(表裏無縁黄色)

五百圓券(表裏無縁色色)

千圓券(表裏無青色色)

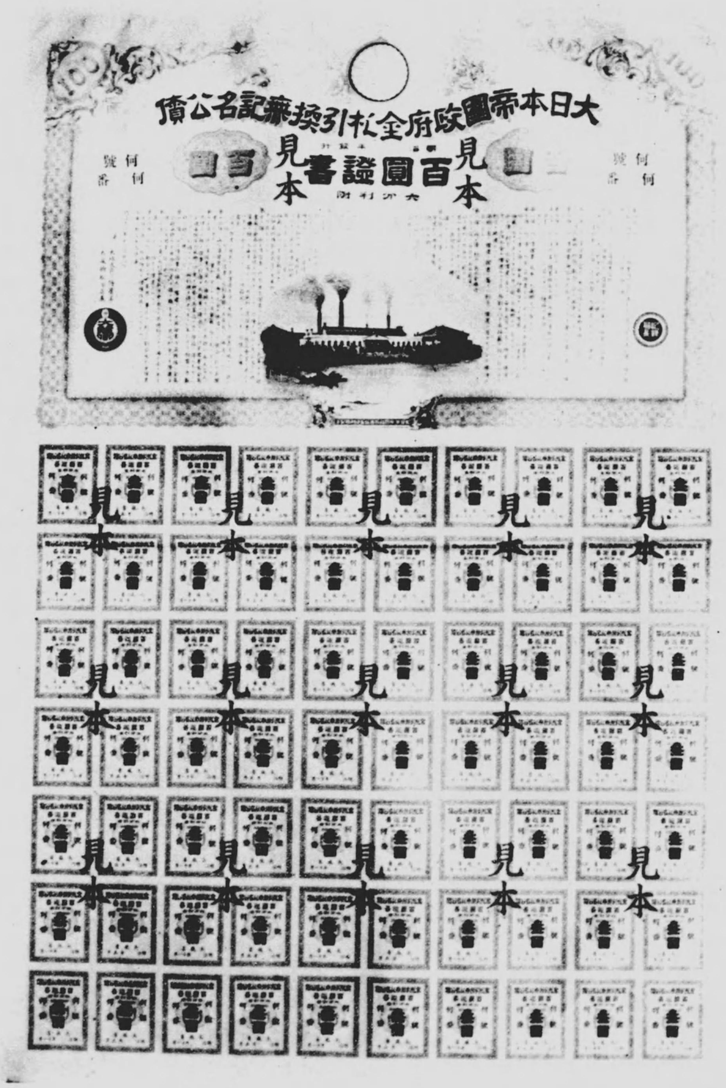
(表)

(七) 起業公債證書



(裏)

(九) 金札引替無記名公債證書 (縦一尺九寸五分 横一尺三寸四分)



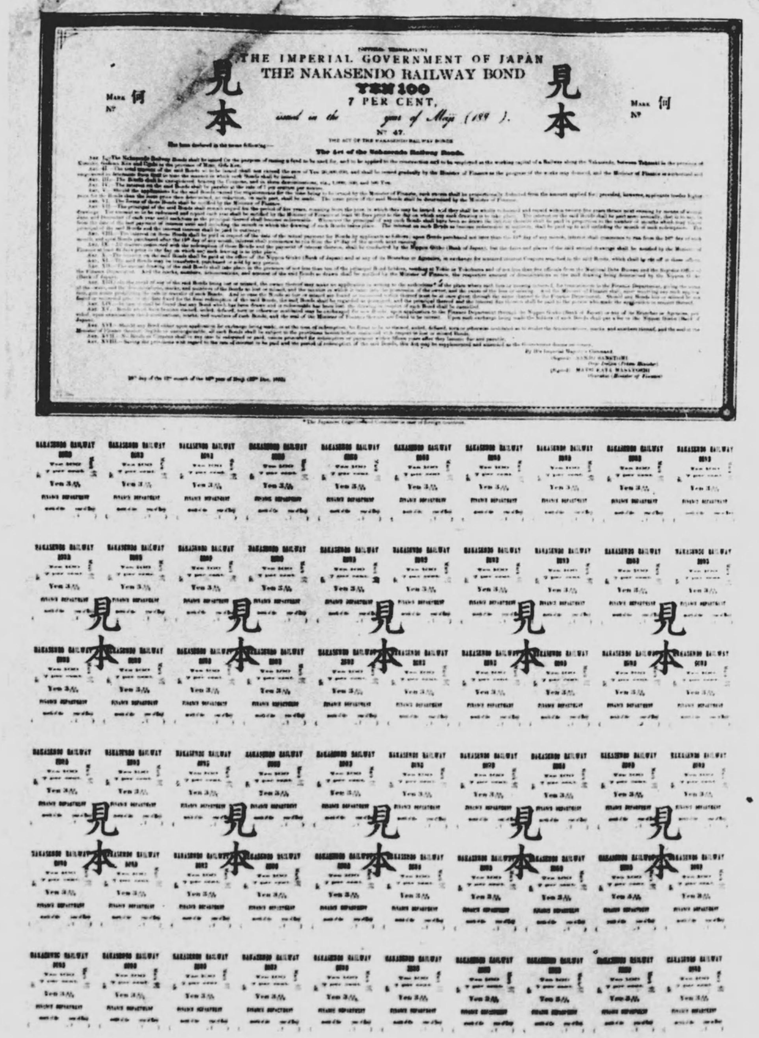
百圓券表裏無線色色

五百圓券表裏無線黄色

千圓券表裏無線色色

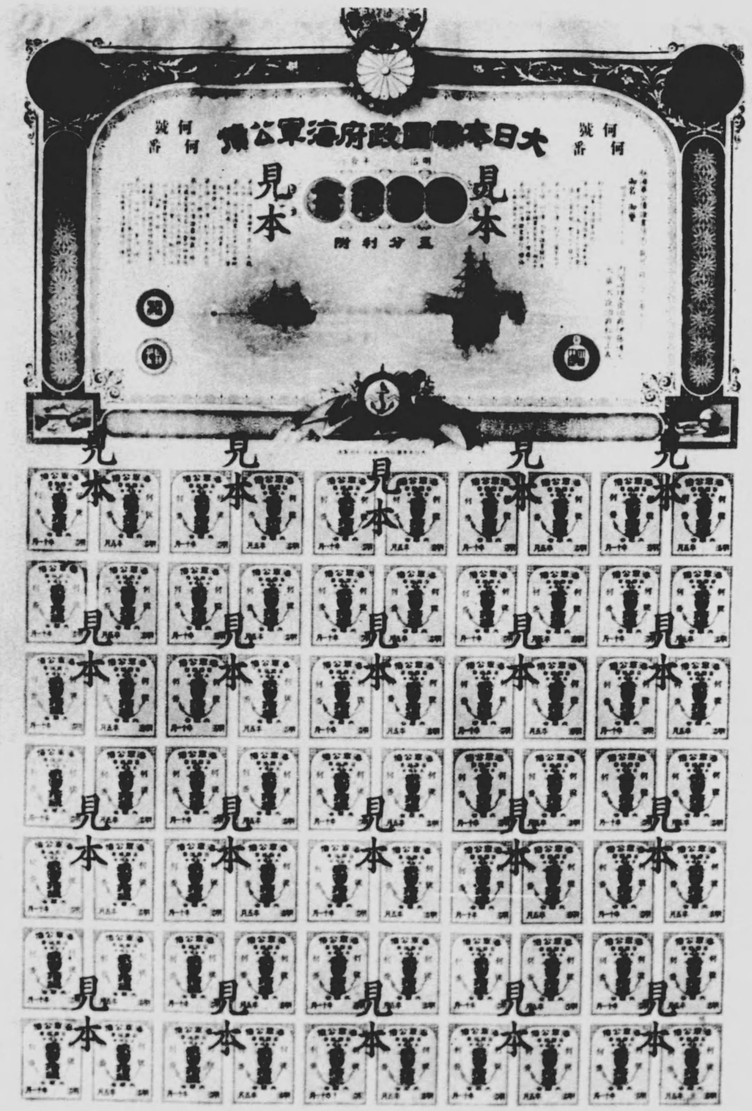
(表)

(八) 中山道鐵道公債證書



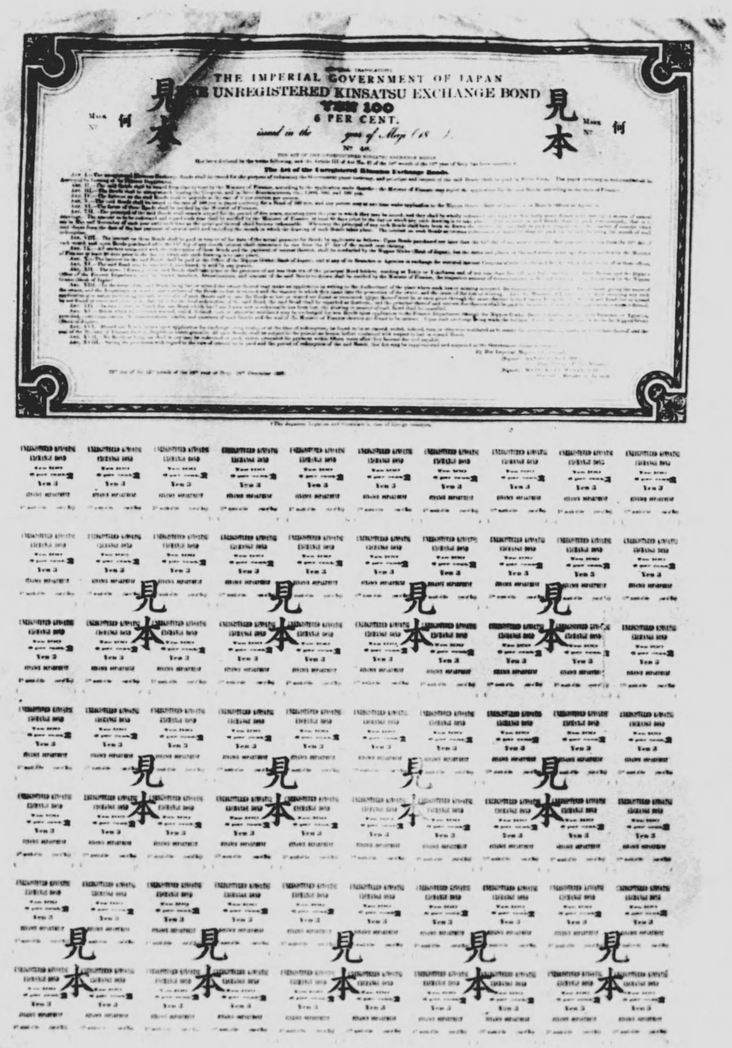
(裏)

(一〇) 海軍公債證書 (縦一尺八寸七分 横一尺三寸)



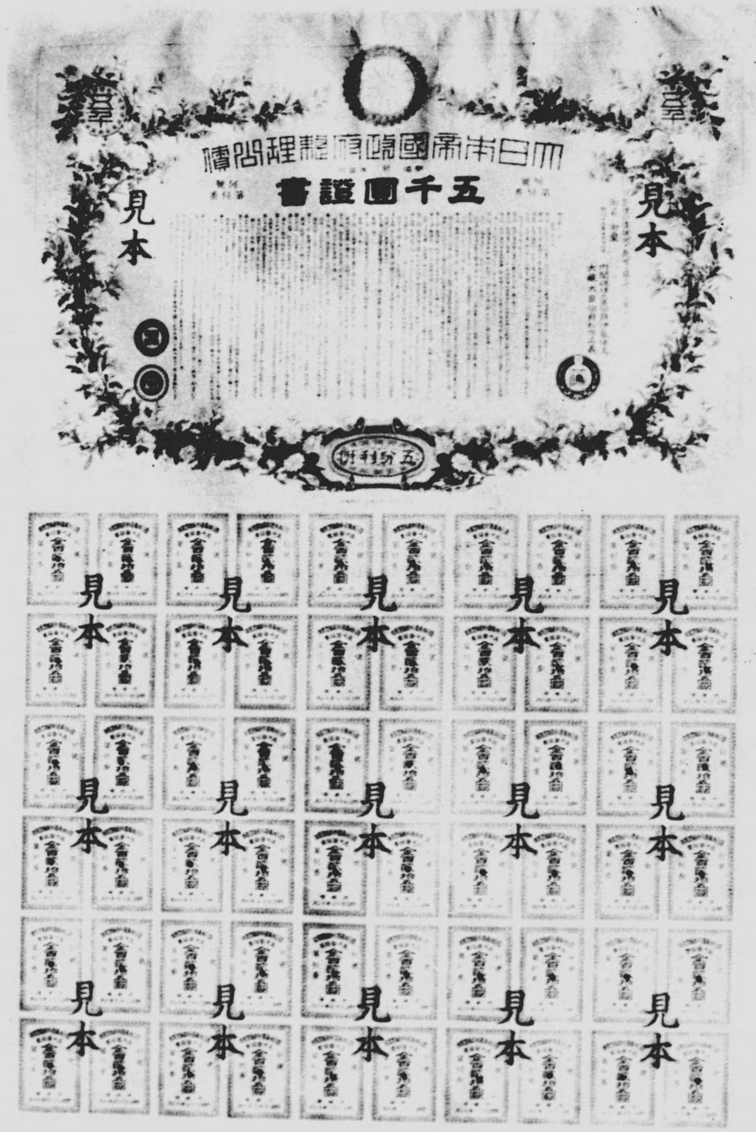
(表)

(九) 金札引換無記名公債證書



(裏)

（一二）整理公債證書（縦一尺九寸四分　横一尺三寸三分）



五十圓券　表　淡黄色・緑色
裏　淡緑色・青色

五千圓券　表　青色・淡緑色
裏　淡緑色

百圓券　表　淡黄色・淡黄色
裏　淡黄色

五百圓券　表　淡紫色・黒色
裏　淡紫色・紅色

（表）

（一一）鐵道費補充公債證書（縦一尺七寸四分　横一尺四寸四分）

五十圓券　表　無淡黒地色

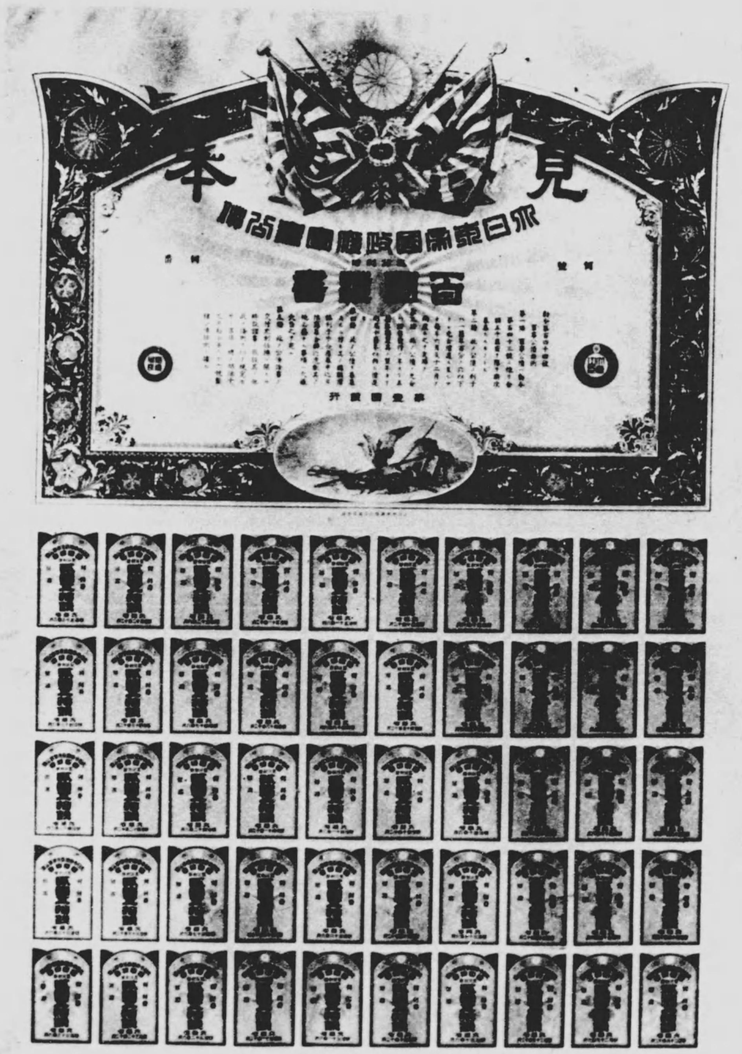
百圓券　表　無老緑地色

五百圓券　表　無淡黄地色

千圓券　表　無淡栗地色

（表）

(一三) 軍事公債證書 (縦一尺九寸三分 横一尺三寸六分)



五十圓券 表 帶紫淡黒色・藍色 裏 藍

千圓券 表 帶紫淡黒色・桧黄色 裏 藍

百圓券 表 帶紫淡黒色・淡黒色 裏 藍

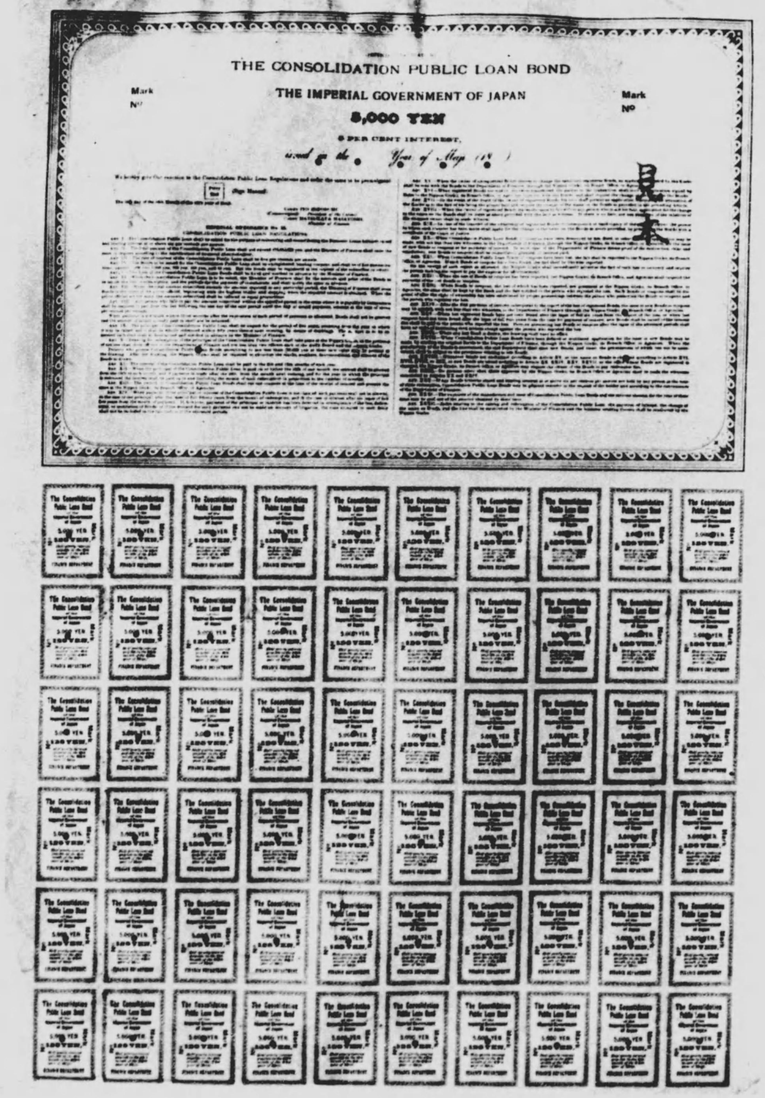
五千圓券 表 帶紫淡黒色・藍色 裏 藍

五百圓券 表 帶紫淡黒色・緑色 裏 藍

一萬圓券 表 帶紫淡黒色・紅色 裏 藍

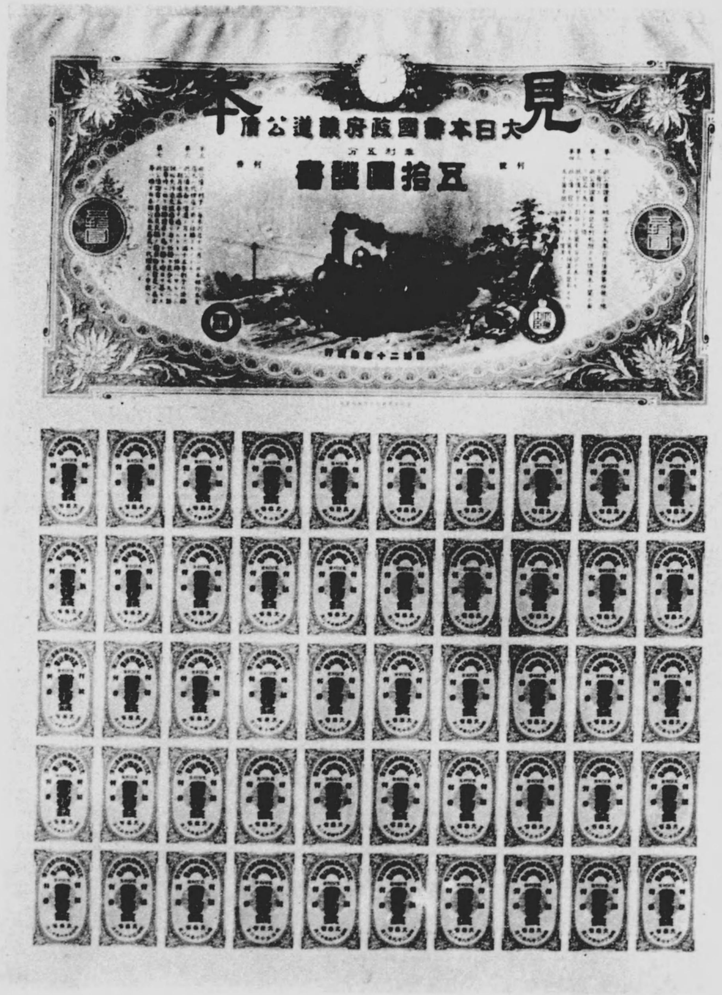
(表)

(一二) 整理公債證書



(裏)

(一四) 鐵道公債證書 (縱一尺一寸六分 横一尺二寸四分)



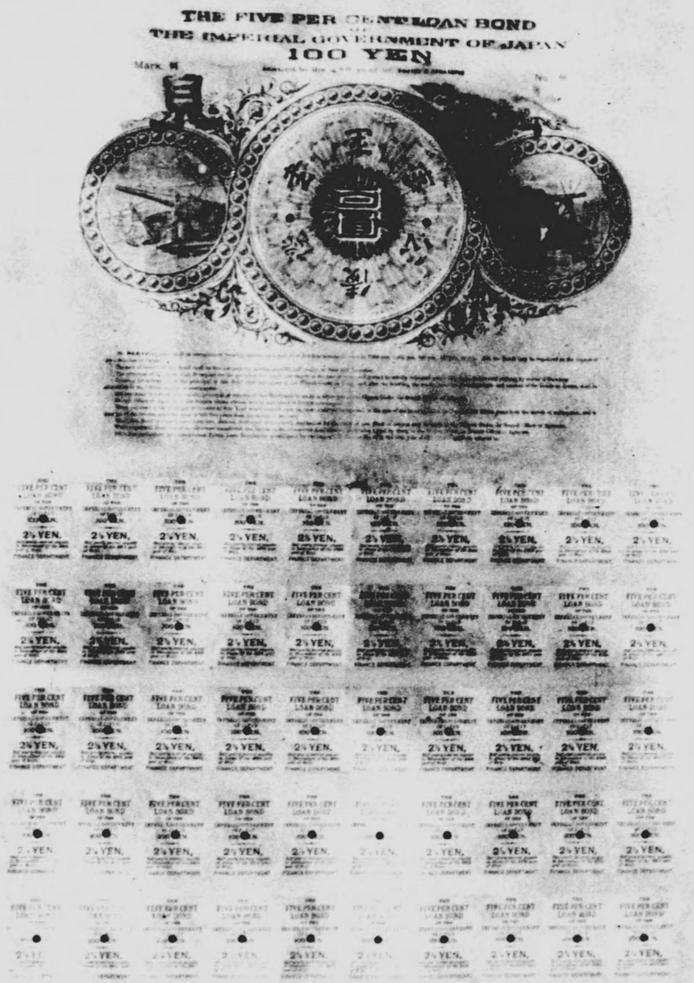
五十圓券(表書黑色)
千圓券(表書緑色)

百圓券(表書黑色)
五千圓券(表書褐黄色)

五百圓券(表書黑色)

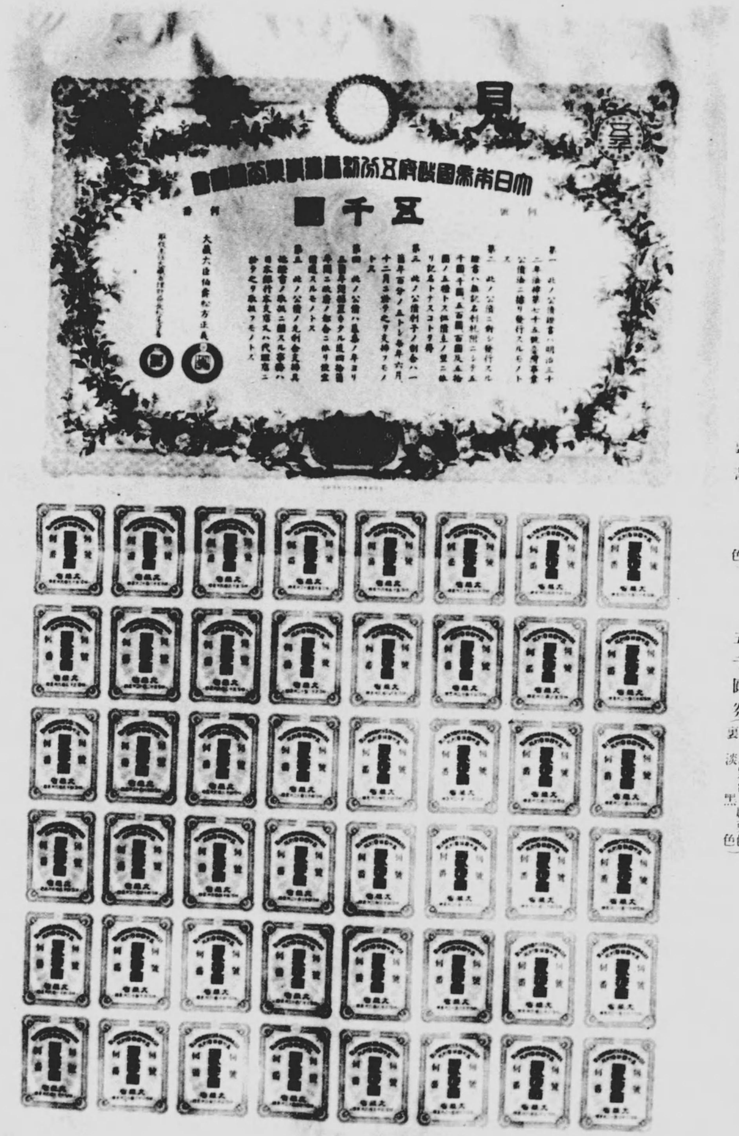
(表)

(一三) 軍事公債證書



(裏)

(一五) 臺灣事業公債證書 (縱二尺二寸 横一尺三寸八分)



十圓券 表 淡紅色・裏 橙黄色
五百圓券 表 淡紅色・裏 橙黄色

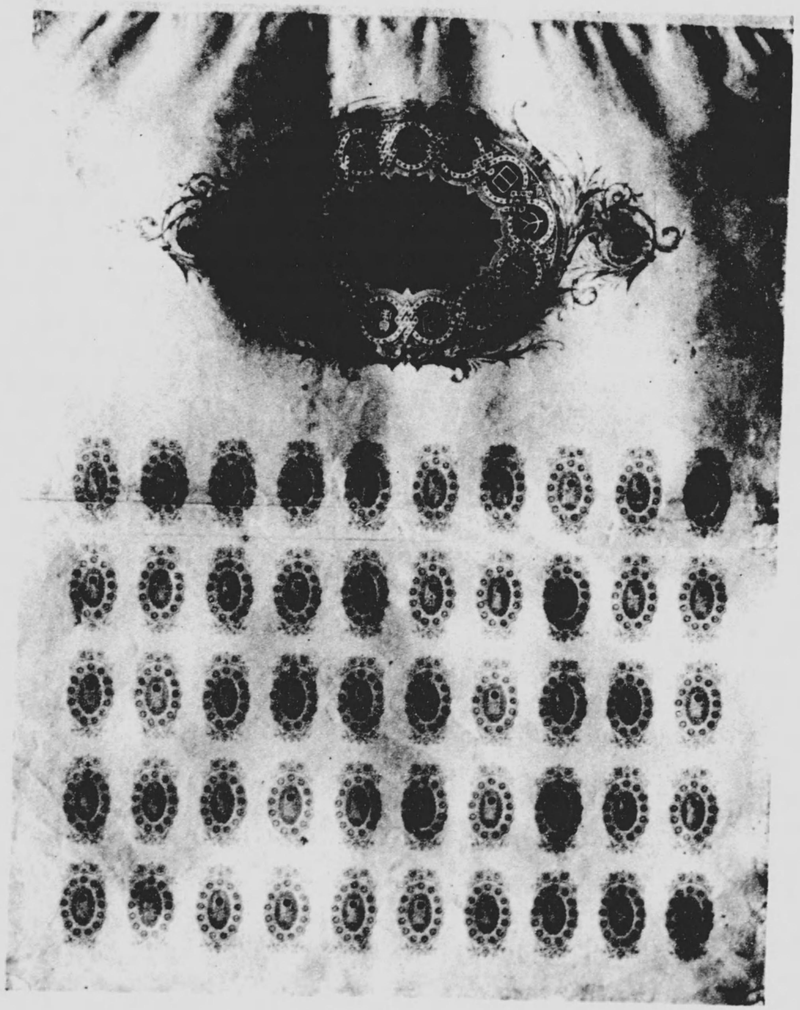
十五圓券 表 紫色・裏 橙栗色
千圓券 表 青色・裏 橙栗色

五十圓券 表 淡赭色・裏 橙栗色
五千圓券 表 淡黒色・裏 橙栗色

百圓券 表 緑色・裏 橙栗色

(表)

(一四) 鐵道公債證書



(裏)

(一六) 五分利公債證書 (舊樣式) (縱二尺二寸八分 橫一尺三寸)

五十圓券 表藍色・淡黑色 裏淡黑色

千圓券 表綠色・淡綠色 裏綠色

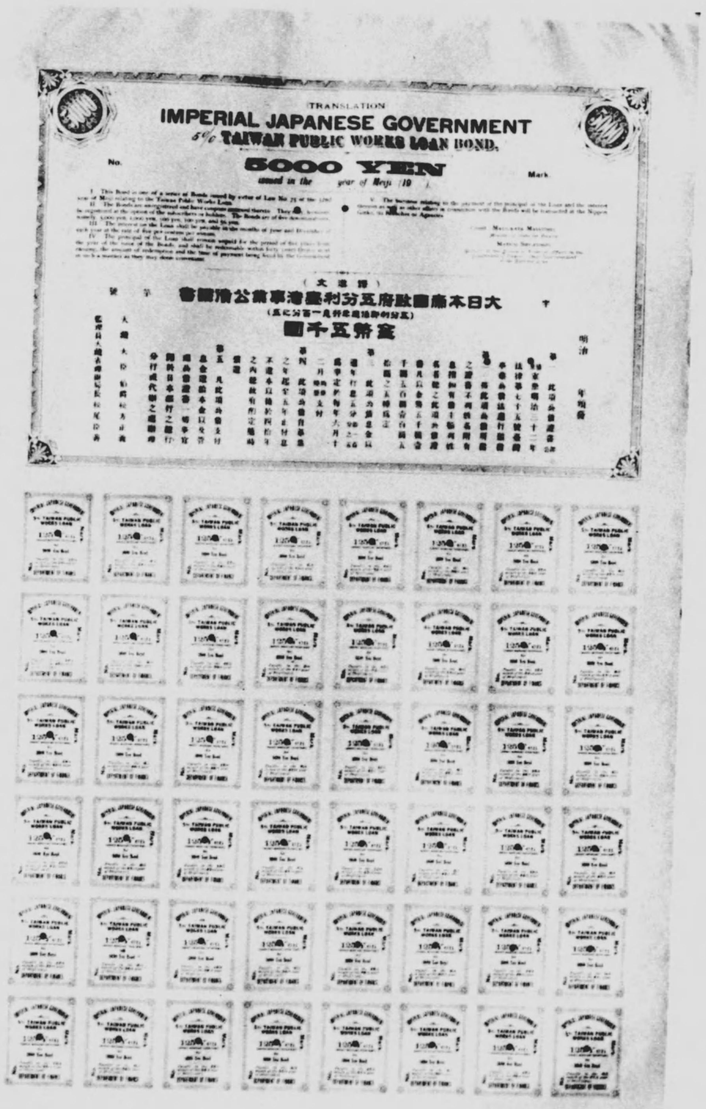
百圓券 表藍色・淡桃黃色 裏桃黃色

五千圓券 表藍色・青色 裏青色

五百圓券 表藍色・淡紅色 裏淡紅色

(表)

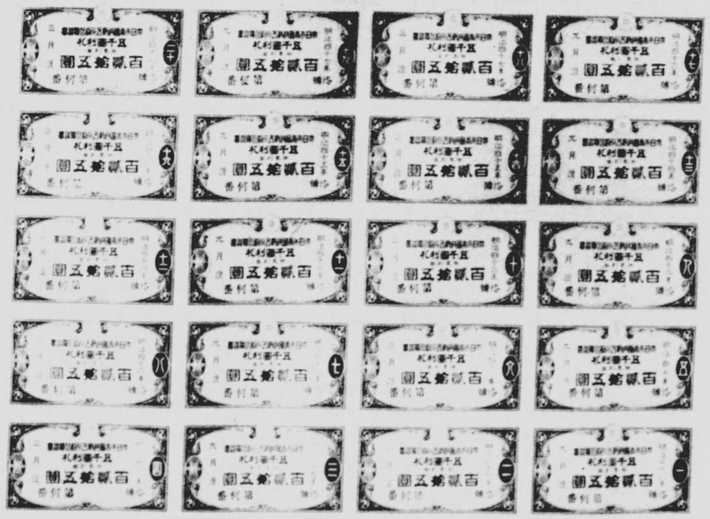
(一五) 臺灣事業公債證書



(裏)

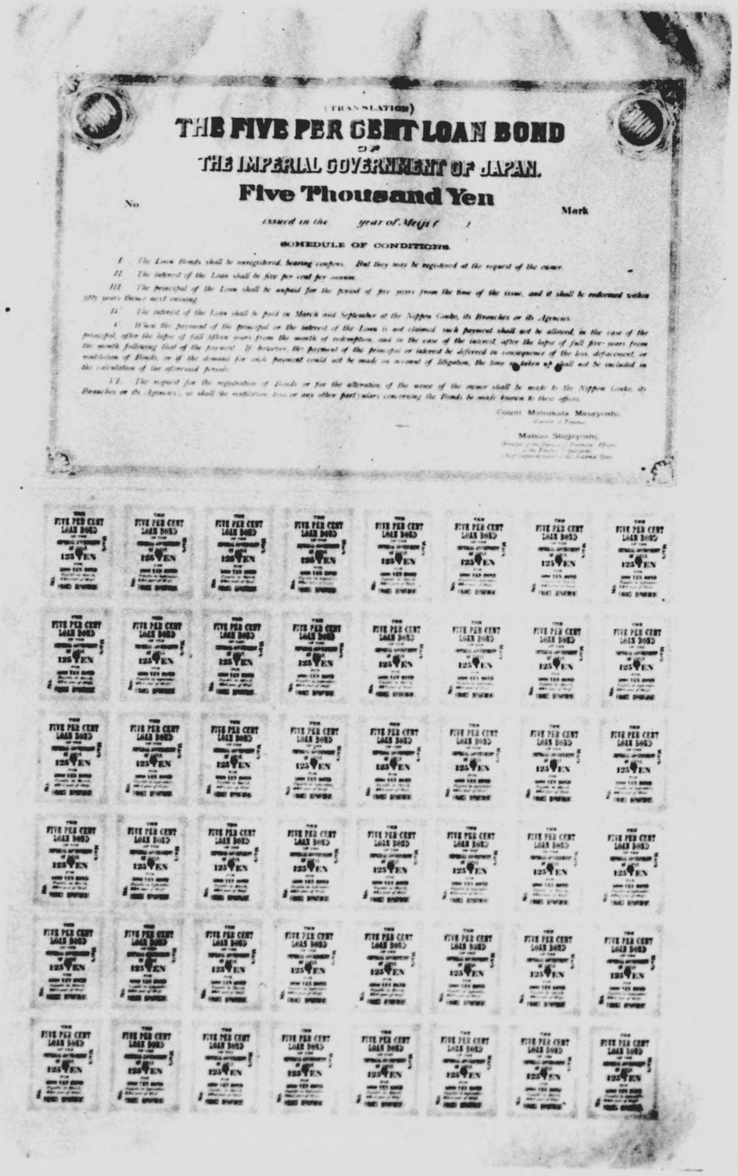
(一七) 五分利公債證書（新様式）（縦一尺三寸三分　横一寸九分一）

五千圓券（緑色）
千圓券（桔梗色）
百圓券（青色）
五千圓券（褐色）
五百圓券（紅色）
一萬圓券（黄色）



（表）

(六一) 五分利公債證書（舊様式）



(TRANSLATION)

THE FIVE PER CENT LOAN BOND

OF

THE IMPERIAL GOVERNMENT OF JAPAN.

Five Thousand Yen

No. Mark

issued in the year of Meiji ( )

SCHEDULE OF CONDITIONS.

I. The Loan Bonds shall be unregistered, bearing coupons. But they may be registered at the request of the owner.

II. The interest of the Loan shall be five per cent per annum.

III. The principal of the Loan shall be unpaid for the period of five years from the time of the issue, and it shall be redeemed within fifty years thereafterwards.

IV. The interest of the Loan shall be paid in March and September at the Nippon Ginko, its Branches or its Agencies.

V. When the payment of the principal or the interest of the Loan is not claimed, such payment shall not be allowed, in the case of the principal, after the lapse of full fifteen years from the month of redemption, and in the case of the interest, after the lapse of full five years from the month following that of the payment. If however the payment of the principal or interest be delayed in consequence of the loss, defacement, or mutilation of Bonds, or of the demand for such payment could not be made on account of litigation, the time so taken up shall not be included in the calculation of the aforesaid period.

VI. The request for the registration of Bonds or for the alteration of the name of the owner shall be made to the Nippon Ginko, its Branches or its Agencies, or shall the mutilation, loss or any other particulars concerning the Bonds be made known to these offices.

Count Matsukata Masayoshi,
Minister of Finance.

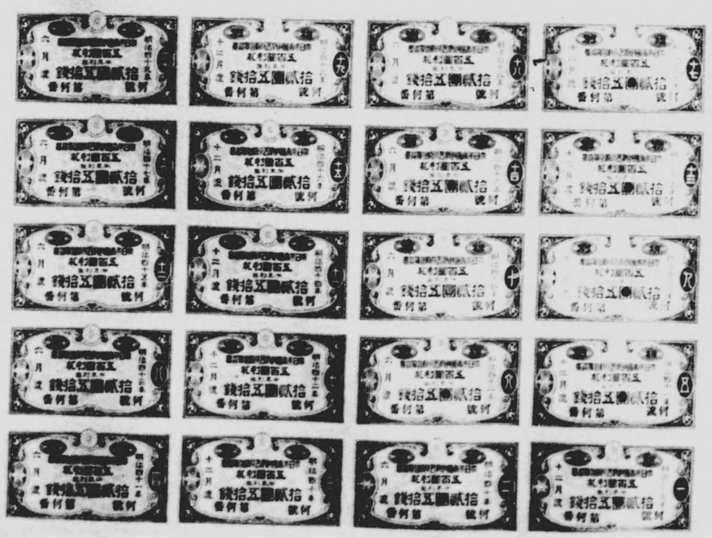
Matsuo Shigeyoshi,
Director of the Finance Bureau, Finance Office,
Director of the Bureau, Secretary,
Chief Superintendent of the Loans Bureau.

（裏）

(一八) 特別五分利公債證書 (縦一尺三寸三分 横一寸九分)

五十圓券(緑色)
千圓券(桔梗色)

百圓券(青色)
五千圓券(褐色)



五百圓券(紅色)
一萬圓券(黄色)

(表)

(一七) 五分利公債證書 (縦式)

(TRANSLATION)

THE FIVE PER CENT LOAN BOND OF THE IMPERIAL GOVERNMENT OF JAPAN.

FIVE THOUSAND YEN

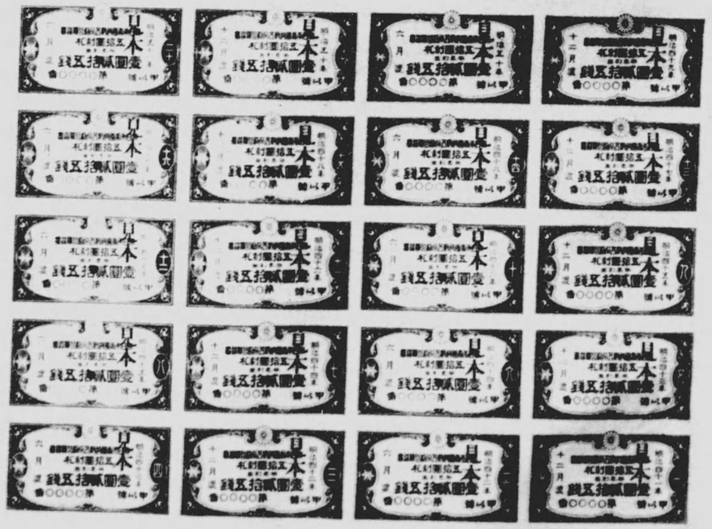
issued in the 38th year of Meiji (1905).

No. ● Mark ⊕ Ru

SCHEDULE OF CONDITIONS.

(裏)

五十圓券綠色
千圓券桔梗色
百圓券青色
五千圓券鴻色
五百圓券紅色
一萬圓券黃色



(表)

(TRANSLATION)

(SPECIAL)

THE FIVE PER CENT LOAN BOND OF THE IMPERIAL GOVERNMENT OF JAPAN

FIVE HUNDRED YEN

issued in the 39th year of Meiji (1906)

No. Mark

SCHEDULE OF CONDITIONS.

I. The Bond issued in accordance with Law No. 13 of the 39th year of Meiji.

II. This Bond shall be non-registered, bearing coupons. It may, however, be registered at the request of the subscriber at a registered, bearing coupons.

III. The rate of interest of the Loan shall be five per centum per annum, payable in June and December of each year.

IV. The principal of the Loan shall remain unpaid for the period of five years counting from the 39th year of Meiji, and shall be redeemed within twenty five years thereafter [illegible]

V. The principal and interest of the Loan shall be paid at the Bank of Japan in London and Antwerp.

VI. The principal of interest of the Loan shall not be paid in case of the principal [illegible] of full years from the 40th year of Meiji, in case of redemption, in case of the interest, after [illegible] from the month in which payment falls due, provided, however, [illegible] in the loss, delay and a modification of the Bond payment is deferred [illegible] payment can not be made, the period during which such deferment [illegible] subject to the prescription of the interest period.

VII. When [illegible] such bond shall have been taken [illegible] period [illegible]

VIII. The interest [illegible] income tax.

IX. Applications for the [illegible] Bonds or for the alteration [illegible] and A.B.C. shall [illegible] and other particulars [illegible] shall be made to the Bank of Japan [illegible] Antwerp.

Minister of State for Finance

(裏)

書證債公利分五別特

(TRANSLATION)

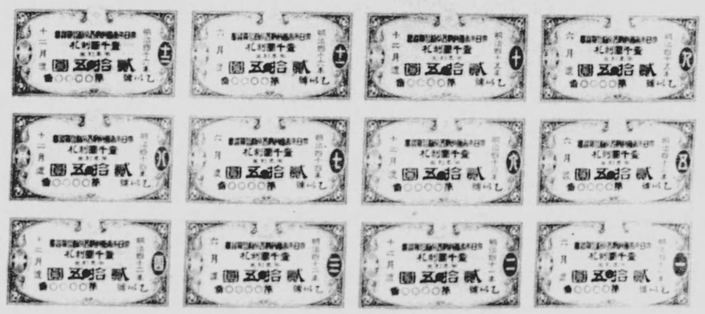
(SPECIAL)

THE FIVE PER CENT LOAN BOND
OF
THE IMPERIAL GOVERNMENT OF JAPAN.
FIVE HUNDRED YEN

SCHEDULE OF CONDITIONS.

No. Mark

五十圓券(緑色)
千圓券(桔梗色)
百圓券(青色)
五千圓券(淡黄色)
五百圓券(紅色)
一萬圓券(桧皮黄色)



(表)

(TRANSLATION)

THE FIVE PER CENT LOAN BOND OF THE IMPERIAL GOVERNMENT OF JAPAN.

FIFTY YEN

issued in the 41st year of Meiji (1908).

No. 0000 Mark 甲ロ (Ko-Ro)

SCHEDULE OF CONDITIONS.

I. The Loan Bond shall be unregistered, bearing coupons. But they may be registered at the request of the owner.

II. The interest of the Loan shall be five per cent per annum.

III. The principal of the Loan shall be repaid for the period of five years from the time of the issue, and it shall be redeemed within fifty years thereafter next coming.

IV. The interest of the Loan shall be paid in June and December at the Nippon Ginko, its Branches or its Agencies.

V. When the payment of the principal or of the interest of the Loan is not claimed, such payment shall not be allowed, in the case of the principal, after the lapse of full fifteen years from the month of redemption, and in the case of the interest, after the lapse of full five years from the month following that of payment. If, however, the payment of the principal or interest be deferred in consequence of the loan, deferment, or mutilation of Bonds, or if the demand for such payment could not be made on account of litigation, the time so taken up shall not be included in the calculation of the aforesaid periods.

VI. When all the coupons attached to this Bond shall have been taken up, coupons for succeeding periods shall be delivered in regular order.

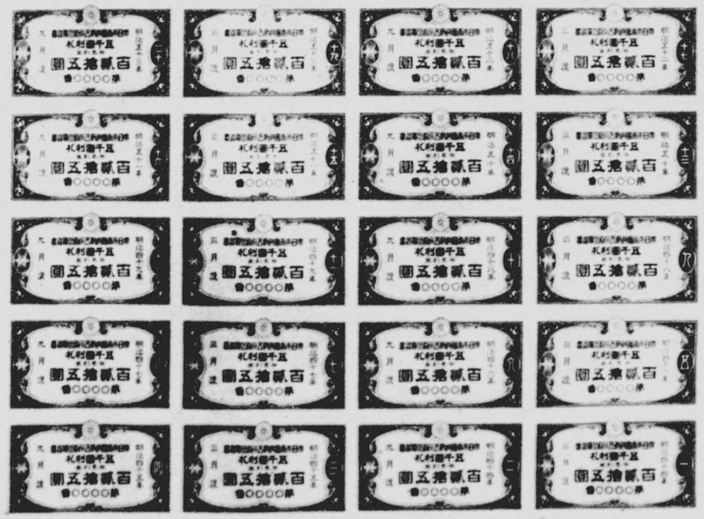
VII. The request for the registration of Bonds or for the alteration of the name of the owner shall be made to the Nippon Ginko, its Branches or its Agencies, as shall the notification, loss or any other particulars concerning the Bonds be made known to them effective.

Minister of State for Finance.

(裏)

(二一) 恩賜公債證書 (縦一尺三寸三分 横九寸一分)

五十圓券(緑色)
千圓券(桔梗色)
百圓券(青色)
五千圓券(褐色)
五百圓券(紅色)
一萬圓券(黄色)



(表)

(二〇) 乙號五分利公債證書

(TRANSLATION)

THE FIVE PER CENT LOAN BOND OF THE IMPERIAL GOVERNMENT OF JAPAN.

ONE THOUSAND YEN

No. 0000 *issued in the 41st year of Meiji (1908).* Mark (Otsu-Ichi)

SCHEDULE OF CONDITIONS.

I. The Loan Bond shall be unregistered, bearing coupons. But they may be registered at the request of the owner.

II. The interest of the Loan shall be five per cent per annum.

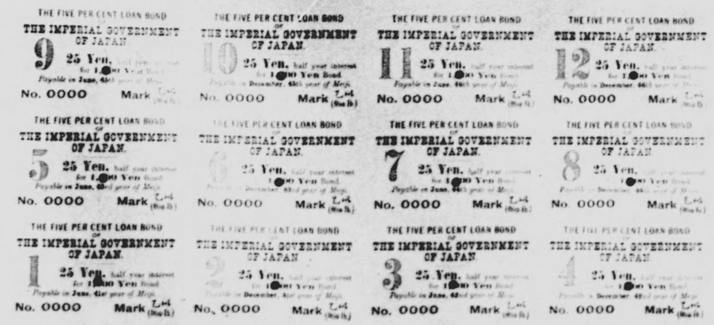
III. The principal of the Loan shall be redeemed on or before the 1st December, 46th year of Meiji.

IV. The interest of the Loan shall be paid on the 1st June and the 1st December at the Nippon Ginko, its Branches or its Agencies.

V. When the payment of the principal or of the interest of the Loan is not claimed, such payment shall not be allowed, in the case of the principal, after the lapse of full fifteen years from the month of redemption, and in the case of the interest, after the lapse of full five years from the month following that of payment. If, however, the payment of the principal or interest be deferred in consequence of the loss, defacement, or mutilation of Bonds, or if the demand for such payment could not be made on account of litigation, the time so taken up shall not be reckoned in the calculation of the aforesaid periods.

VI. The request for the registration of Bonds or for the alteration of the name of the owner shall be made to the Nippon Ginko, its Branches or its Agencies, as shall the most likely, but any other particulars concerning the Bonds be made known to these offices.

Minister of State for Finance.



(裏)

(二二) 四分利公債證書 (縦一尺三寸三分 横九寸一分)

五十圓券(緑色)
千圓券(桔梗色)
百圓券(青色)
五千圓券(黄色)

五百圓券(紅色)
一萬圓券(黄色)

(表)

(二一) 恩賜公債證書

(TRANSLATION)

ONSHI LOAN.

THE FIVE PER CENT LOAN BOND OF THE IMPERIAL GOVERNMENT OF JAPAN.

FIVE THOUSAND YEN

No. 0000 issued in the 43rd year of Meiji (1910).

SCHEDULE OF CONDITIONS.

I. This Bond is issued in accordance with Imperial Ordinance No. 327 of the 43rd year of Meiji.

II. The rate of interest on this loan shall be five per cent per annum.

III. The principal of this loan shall be repaid at the period of five years in [illegible] which it is issued, and it shall be wholly redeemed within the following fifty years.

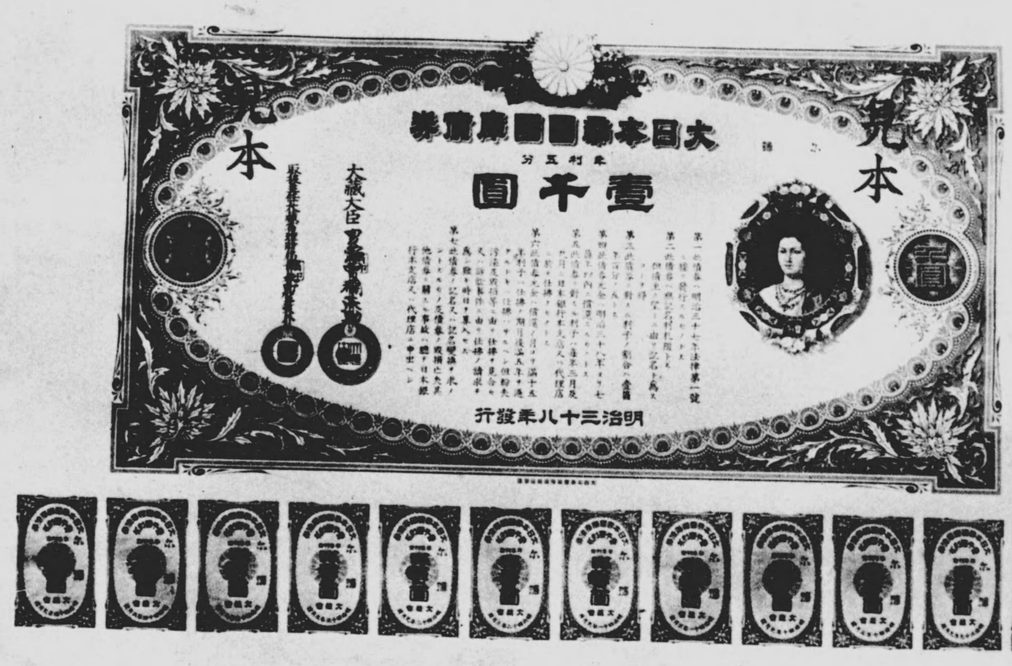
IV. The interest of the Loan shall be paid on March [illegible] September of each year [illegible] up to the respective months of payment.

V. The redemption proportion with respect to the Loan shall become complete in [illegible] years [illegible] and in five years for the interest.

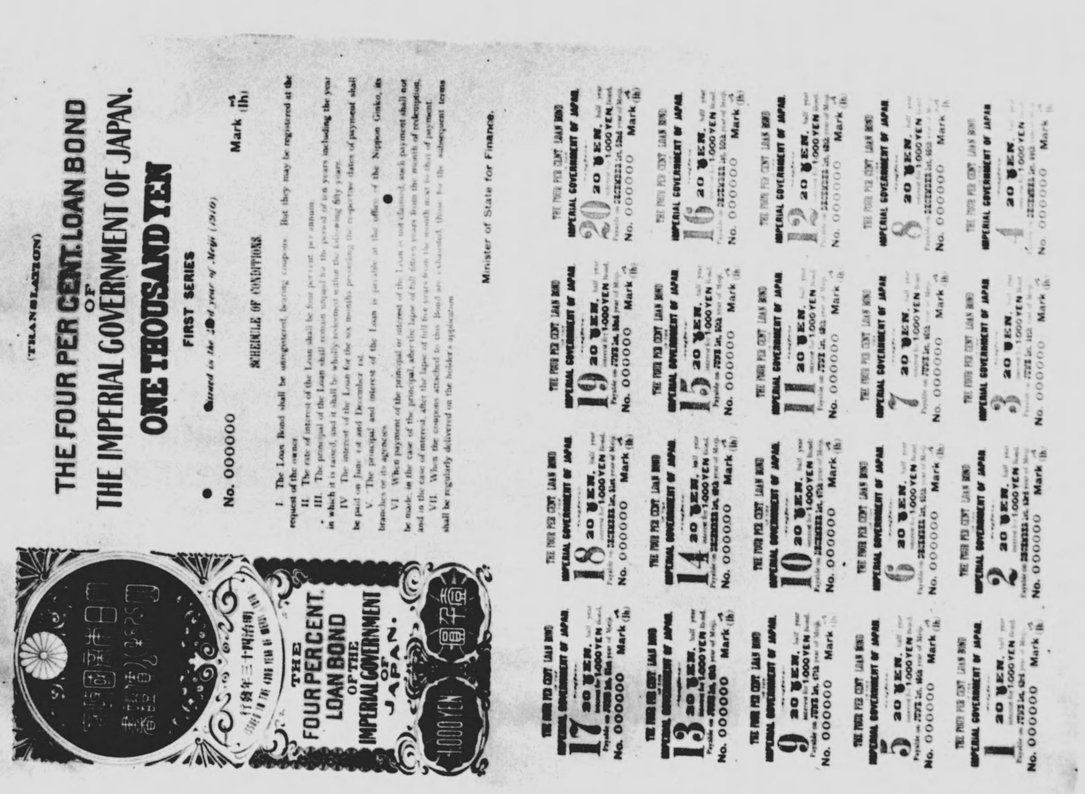
VI. When the respective coupons of this Bond are [illegible] the subsequent terms [illegible] shall be [illegible] on the holder's application.

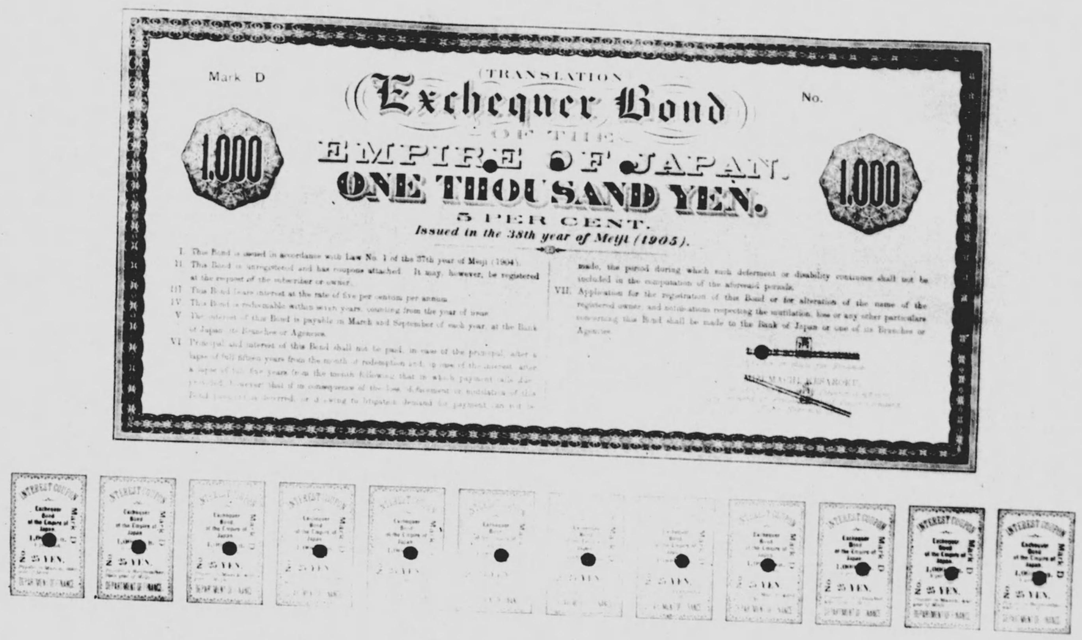
Minister of State for Finance.

(裏)



二十五圓券 表 桔梗色 裏 暗紫色
五百圓券 表 藍色 裏 暗紫色
一萬圓券 表 紅紫色 裏 暗紫色
五十圓券 表 緑色 裏 暗紫色
千圓券 表 濃黒青色 裏 暗紫色
百圓券 表 青色 裏 暗紫色
五千圓券 表 橙黄色 裏 暗紫色





Mark D

(TRANSLATION)

Exchequer Bond

OF THE

EMPIRE OF JAPAN.

ONE THOUSAND YEN.

5 PER CENT.

Issued in the 38th year of Meiji (1905).

No.

1,000

1,000

I. This Bond is issued in accordance with Law No. 1 of the 37th year of Meiji (1904).

II. This Bond is unregistered and has coupons attached. It may, however, be registered at the request of the subscriber or owner.

III. This Bond bears interest at the rate of five per centum per annum.

IV. This Bond is redeemable within seven years, counting from the year of issue.

V. The interest of this Bond is payable in March and September of each year, at the Bank of Japan, its Branches or Agencies.

VI. Principal and interest of this Bond shall not be paid, in case of the principal, after a lapse of full fifteen years from the month of redemption and, in case of the interest, after a lapse of full five years from the month following that in which payment ought to be made. Provided, however, that if in consequence of the loss, defacement or mutilation of this Bond (interest) is deferred, or if owing to litigation demand for payment can not be made, the period during which such deferment or disability continues shall not be included in the computation of the aforesaid periods.

VII. Application for the registration of this Bond or for alteration of the name of the registered owner, and notifications respecting the mutilation, loss or any other particulars concerning this Bond shall be made to the Bank of Japan or one of its Branches or Agencies.

(裏)

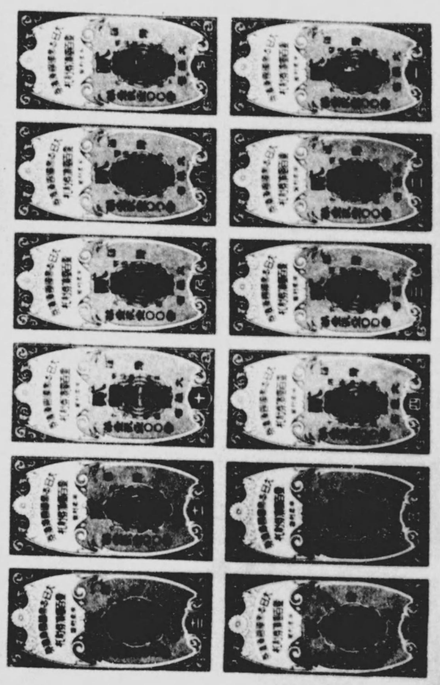
(三三) 明治三十七八年發行國庫債券

(分六寸三厘 分四寸九厘) 券債庫國法賣專草煙 (四二)

千圓券(藍綠色)

五千圓券(紅色)

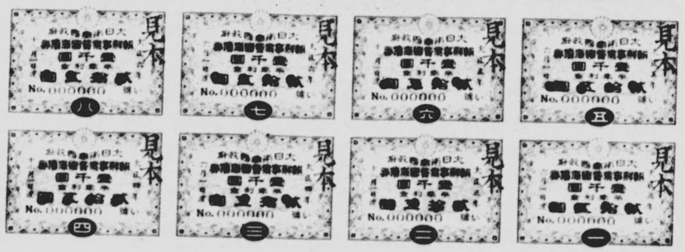
五百圓券(紫色)



(表)

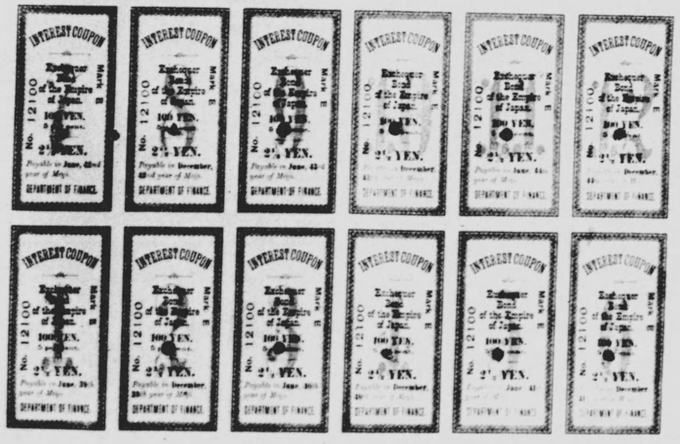
(二五) 朝鮮事業費國庫債券 〔縦九寸 横九寸〕

五十圓券（縦色）
千圓券（桔梗色）
百圓券（青色）
五千圓券（赤色）
一萬圓券（黄色）



(表)

(二四) 煙草專賣法國庫債券



(裏)

(二六) 鐵道債券

(縦一八尺四分 横一九尺九分)

五十圓券(緑色)
千圓券(桔梗色)
百圓券(青色)
五千圓券(赭色)
五百圓券(紅色)
一萬圓券(黄色)

(表)

(二五) 朝鮮事業費國庫債券

(TRANSLATION)

IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT EXCHEQUER BOND FOR THE PUBLIC WORKS IN CHŌSEN.

One Thousand Yen.

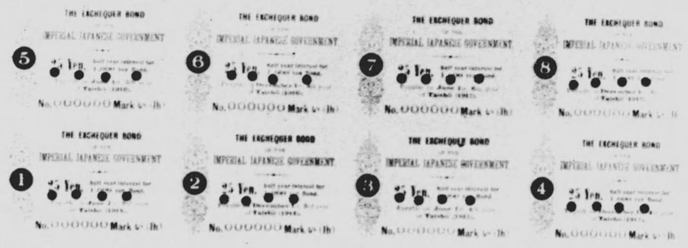
Issued in the 2nd year of Taisho (1913).

No. 000000

Mark ¥ (Ih)

I. This Bond is issued in accordance with the Law of the Chosen Public Works Loan.
II. The Bond may be registered at the request of the owner.
III. The rate of interest on the Bond shall be five per cent per annum.
IV. The principal of the Bond shall be redeemed on or before the 1st December, 6th year of Taisho (1917).
V. The interest on the Bond for the six months up to the respective dates of payment shall be paid on June 1st and December 1st of each year.
VI. The principal of and interest on the Bond shall be paid at the office of the Nippon Ginko, its branches or its agencies.
VII. The prescriptive prescription with respect to the Loan shall become complete in ten years for the principal and in five years for the interest.

Minister of State for Finance. (Seal of the Minister)



(裏)

(TRANSLATION)

IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT

RAILWAY NOTE.

Five Thousand Yen.

Issued in the 4th year of Taishō (1915).

No. 000000　　Mark ゝ (Ih)

I. This Note is issued in accordance with the provisions of Art. III, (3) of the Imperial Railways Account Law.
II. The Note may be registered at the request of the owner.
III. The rate of interest on the Note shall be five per cent. per annum.
IV. The principal of the Note shall be redeemed on or before the 1st September, 9th year of Taishō (1920).
V. The interest on the Note accruing during the six months up to the respective dates of payment shall be paid on March 1st and September 1st of each year.
VI. The principal of and interest on the Note shall be paid at the office of the Nippon Ginko, its branches or its agencies.
VII. The extinctive prescription with respect to the Loan shall become complete in ten years for the principal and in five years for the interest.

Minister of State for Finance.　(Seal of the Minister)

(TRANSLATION)

No.000000 **RAILWAY BOND**

OF THE

IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT.

One Hundred Yen

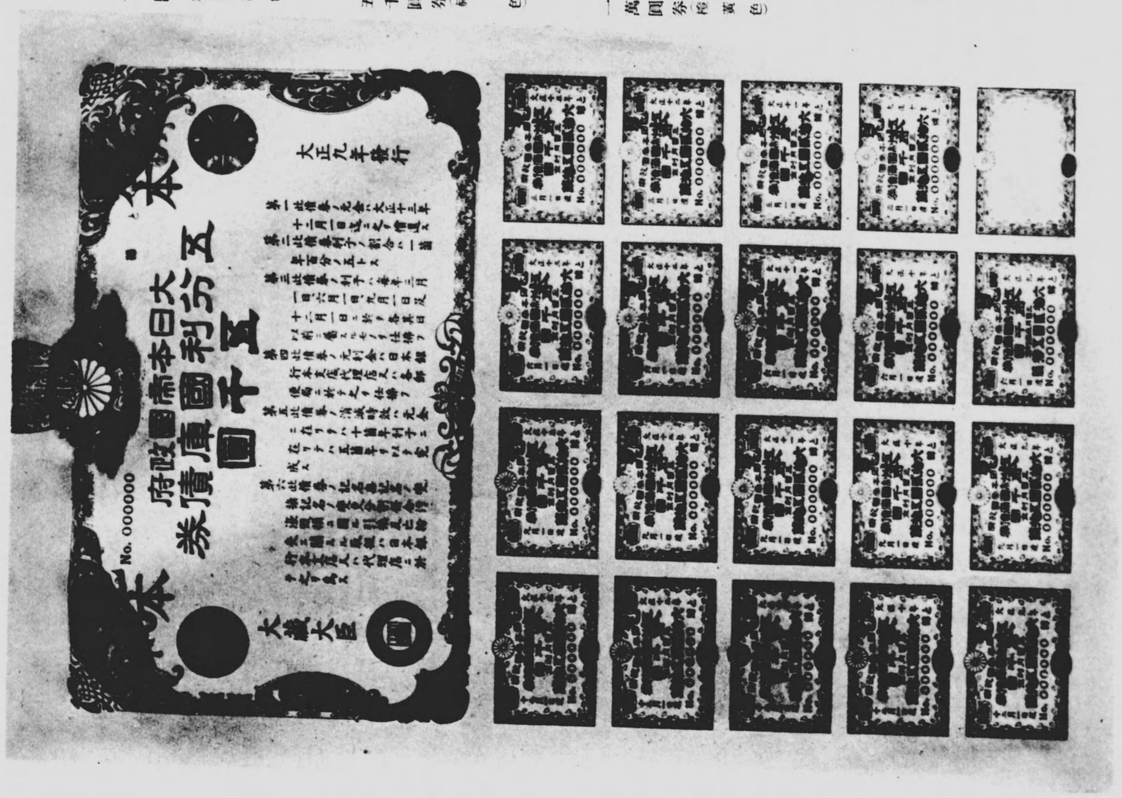
This Bond is issued in accordance with the provisions of Art. II. (2) of the Imperial Railways Account Law.
This Bond shall be payable to the bearer on demand, on the date it falls due, at the Nippon Ginko, its Branches or Agencies.
No payment of this Bond whatever shall be made after the expiration of the full period of six months counting from its due date.
The affairs relating to the subdivision and combination, the exchange caused by defacement and mutilation, and the loss and destruction of this Bond shall be dealt with by the Nippon Ginko, its Branches or Agencies.

The Minister of State for Finance.

Seal of the Minister

Date of Issue: day of the month of the year of Meiji ( ).
Date of Payment: day of the month of the year of Meiji ( ).
Rate of Discount: sen rin for 100 yen per day.

（裏）



二十五圓券（暗紫色）

五十圓券（紫色）

五千圓券（綠色）

一百圓券（黃色）

五百圓券（紅色）

大藏省納本

昭和十一年五月二十七日 印刷
昭和十一年五月三十一日 發行

〔明治大正財政史第十一卷奥附〕
——全二十卷ノ内——

大藏省編纂

東京市赤坂區田町七丁目三番地
發行兼印刷者 草村松雄

東京市牛込區榎町七番地
印刷所 大日本印刷株式會社
榎町工場

發行元 財政經濟學會
東京市赤坂區田町七丁目三番地
明治大正財政史部振替東京一七〇八番
電話赤坂(48)三四〇・三四一番

著作權所有

(TRANSLATION)

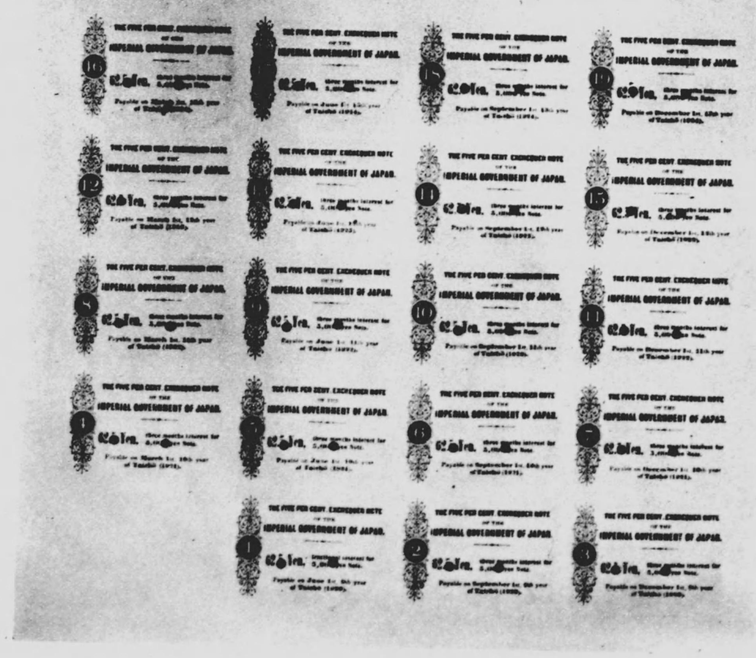
THE FIVE PER CENT. EXCHEQUER NOTE
OF
THE IMPERIAL GOVERNMENT OF JAPAN.

Five Thousand Yen.

Issued in the 9th year of Taishō (1920).

I. The principal of the Note shall be redeemed on or before December 1st, the 13th year of Taishō (1924).
II. The rate of interest on the Note shall be five per cent. per annum.
III. The interest on the Note accruing up to the respective dates of payment shall be paid on March 1st, June 1st, September 1st and December 1st of each year.
IV. The principal and interest of the Note shall be paid at the office of the Nippon Ginko, its branches or agencies, or at every post office.
V. The extinctive prescription with respect to the Loan shall become complete in ten years for the principal and in five years for the interest.
VI. The affairs relating to the conversion of the Note to bearer into the registered Note or the registered Note into the Note to bearer, the alteration of the name of the owner, the subdivision or combination, the exchange caused by defacement or mutilation, and the loss or destruction of this Note shall be dealt with by the Nippon Ginko, its branches or agencies.

Minister of State for Finance. (Seal of the Minister)



(裏)

七4 47

明治大正財政史（全二十卷）略目次

第一卷　第一編　總說
第二卷　第二編　財政機關
第三卷　第三編　會計制度
第四卷　第四編　歲計（上）
第四卷　第四編　歲計（中）
第五卷　第四編　歲計（下）
第六卷　第五編　內國稅（上）
第七卷　第五編　內國稅（下）
第八卷　第六編　關稅
第九卷　第七編　專賣（上）
第十卷　第七編　專賣（下）
第十一卷（第一同記本）　第八編　國債（上）
第十二卷　第八編　國債（下）
第十三卷　第九編　國庫金及資金運用
第十四卷　第十編　通貨
第十五卷　第十一編　銀行（上）
第十六卷　第十一編　銀行（下）
第十七卷　第十二編　金融
第十八卷　第十三編　外地財政
第十九卷　第十四編　雜纂
第二十卷　總目錄・索引　財政經濟年表